

2012グラフで見る

とくしまの農林水産業

徳 島 県

目 次

I 徳島県のすがた	1
II 農 業	4
1 農業の構造	4
(1) 農業経営体	4
(2) 農業従事者数・農業就業人口・基幹的農業従事者数	5
(3) 農業経営体の状況(平成22年2月1日現在)	6
(4) 経営感覚に優れた経営体の育成	7
(5) 耕地	8
(6) 農業経営	9
2 農業生産	10
(1) 生産の概要	10
(2) 米	12
(3) 野菜	14
(4) 果樹	16
(5) 花き	17
(6) 茶	17
(7) 畜産	18
3 農畜産物仕向先別出荷動向(平.22)	20
4 青果物販売動向(平.22)	21
5 大阪中央卸売市場での県産青果物の位置(平成23年1月～12月)	22
6 主な農林水産物の輸入動向(平.23)	23
III 林 業	24
1 徳島県の子な林業施設等の設置状況(平成24年3月現在)	24
2 林業経営体数及び森林面積	25
3 森林資源(平.22)	26
4 林業生産	27
IV 水 産 業	28
1 海面漁業	28
2 海面漁業の生産構造	29
3 内水面漁業の生産量	30
4 全国から見た徳島の漁業	30
V 統 計 表	31

徳島県のすがた

■ 主要指標

県 域: 東西約107km、南北79km
 県土面積: 4,146.55km²
 県総人口: 785,491人(平成22年国勢調査)
 男: 372,710人
 女: 412,781人

県総世帯数: 302,294世帯(平成22年国勢調査)
 県内総生産額: 2兆6,443億円(平成21年度)
 うち農林水産業: 581億円
 県民所得(分配): 2兆0,442億円(平成21年度)
 1人当たり県民所得: 259万0千円(平成21年度)

■ 沿 革

徳島県の前身である阿波国は大化の改新(645年)と呼ばれる政治改革によって成立した。それは、吉野川地域の「粟の国」と県南の「長の国」を合わせて「阿波の国」を置いたと伝えられる。徳島は、古くから淡路(阿波路)を通じ、近畿との交流が頻繁で、平安時代の管道としてもこのルートが使われるなど、近畿の政治文化の影響を強く受けている。

明治維新後、一時期高知県に含まれたこともあったが、明治13年(1880年)にほぼ現在の徳島県が発足した。

徳島県の行政区画は平成23年3月31日現在8市15町1村である。

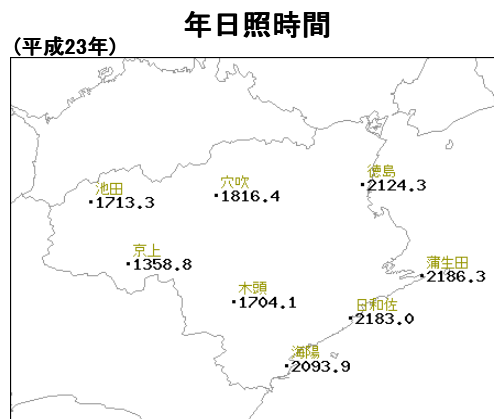
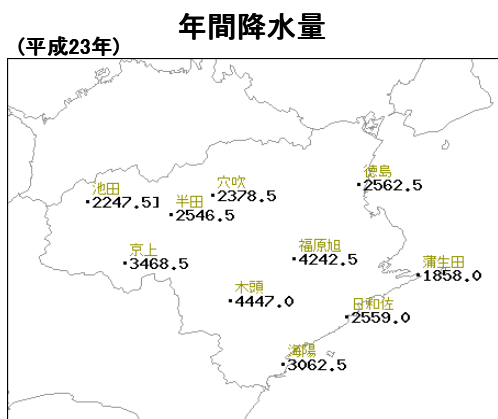
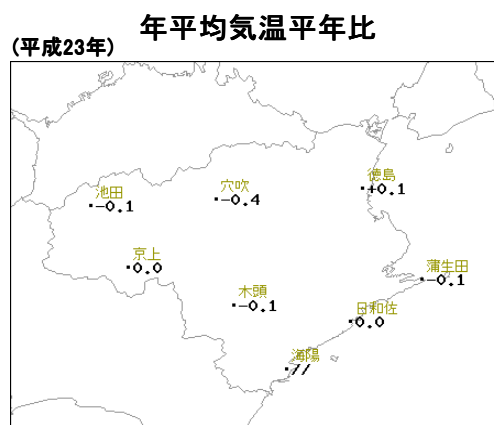
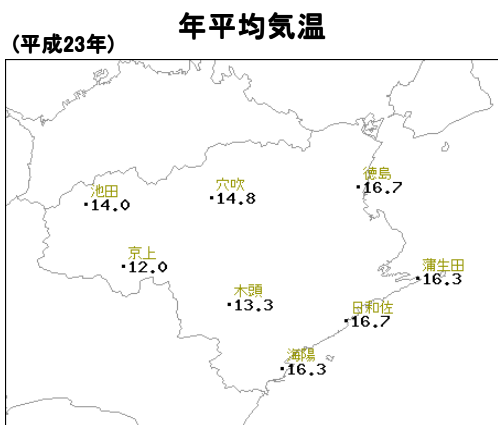
■ 気 象

本県は、四国の東南部に位置し、山地が多く県土面積のおよそ8割を占めている。

四国第2の高山である剣山(1,995m)を中心とした四国山地が県を南北に分け、県の北辺には讃岐山脈が走り、香川県との境をなしている。この両山地の間を縫って吉野川(四国三郎)は、水源を高知県に発し三好市池田町から東流するにつれ、広くさび型となって農業の中心地帯である徳島平野を形成している。

■ 気 象

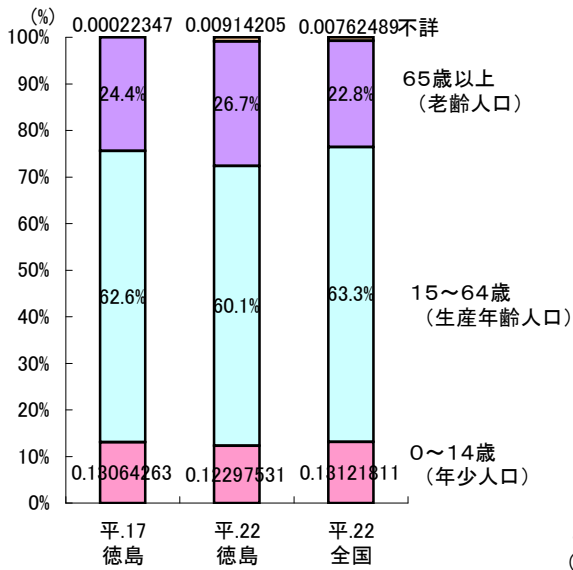
気候は温暖多雨の地域と瀬戸内海気候の一部の地域からなっており、日照時間も多い。



資料: 徳島県地方気象台「徳島県の気象年報(2011)」

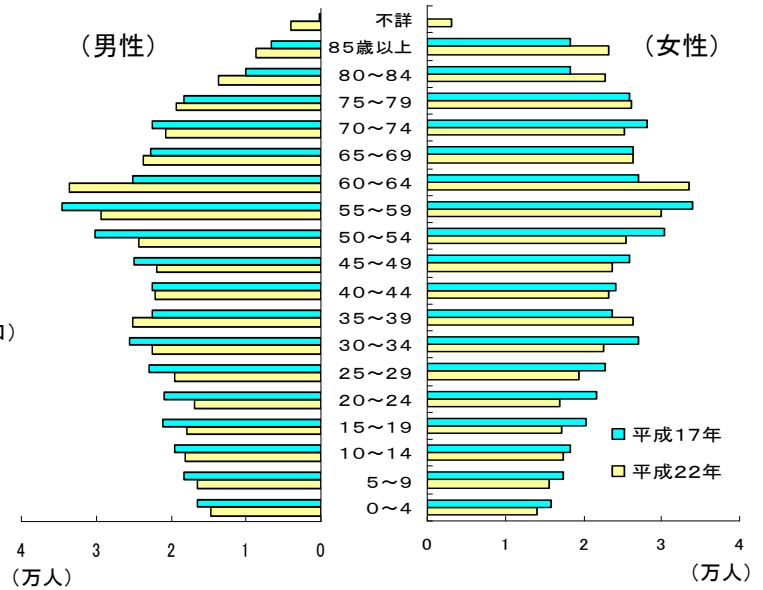
■ 人 口

人口の年齢階層別構成比



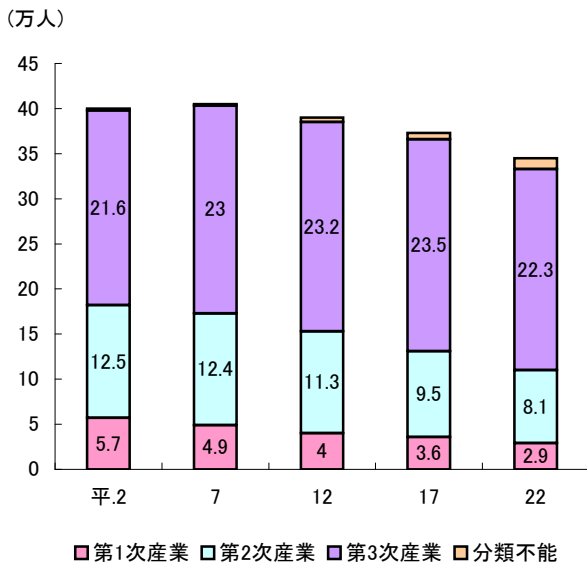
資料:総務省統計局「国勢調査報告」

人口の構成



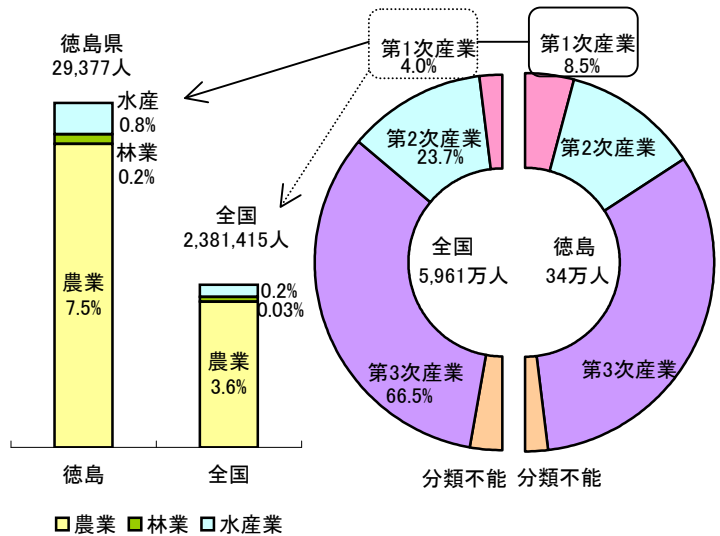
■ 就 業

産業別就業者数



資料:総務省統計局「国勢調査報告」

就業者の産業別構成比較(平.22)

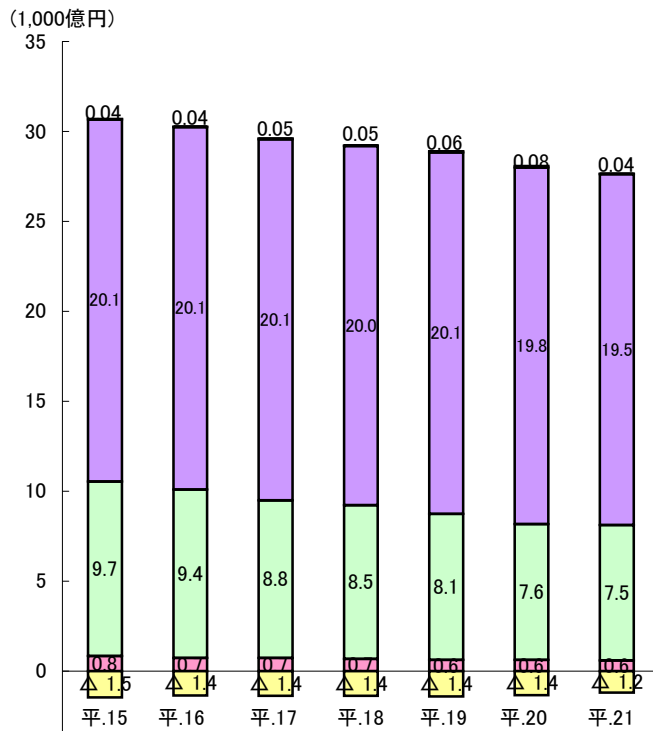


—— 農業就業人口の年齢構成比 ——

平成22年の国勢調査における本県の総人口は78万5,491人で、平成17年に比べ2万4,459人減少した。年齢階層別の構成比をみると、65歳以上の老齢人口が26.7%を占め、全国平均を3.9ポイント上回っており、5年間で2.3ポイント上昇した。一方、産業別就業者数をみると、第1次産業は2万9,377人で、平成17年に比べ7,098人(19.5%)減少した。

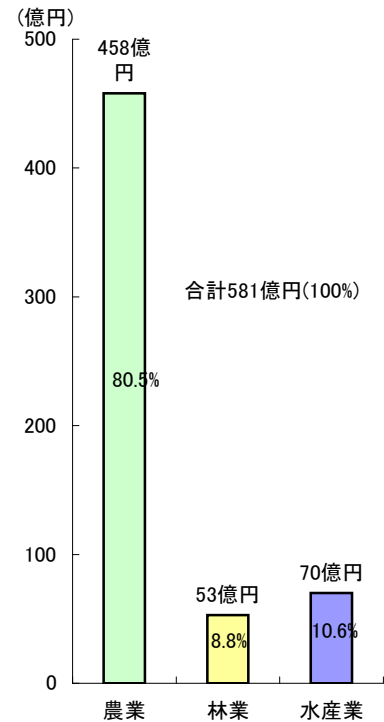
■ 経 済

経済活動別総生産



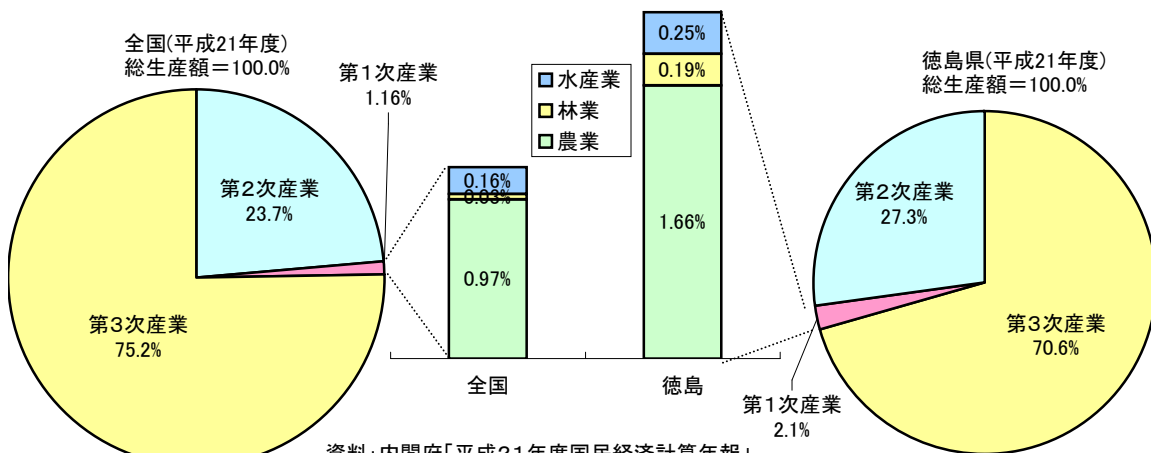
資料: 徳島県「平成21年徳島県県民経済計算」
 △ 5 ■ 第1次産業 □ 第2次産業 ▨ 第3次産業 □ 輸入品税・関税 □ 帰属利子等(控除)

第1次産業生産額(平.21)



資料: 徳島県「平成21年徳島県県民経済計算」

経済構造の国との比較(平.21)



資料: 内閣府「平成21年度国民経済計算年報」
 : 徳島県「県民経済計算年報」
 ※輸入品に課せられる税, 消費税, 帰属利子等は含まれていない。

——農林水産業のウエイトが高い徳島——

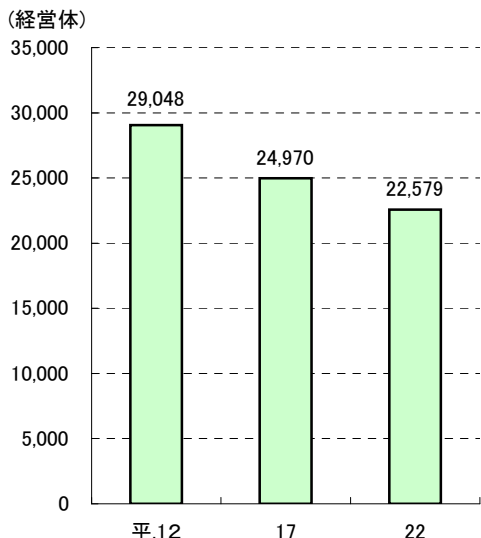
平成21年度の県内総生産は、名目2兆6,434億円、前年度比1.1%減、実質3兆0,050億円、前年度比0.2%増加した。

また、第1次産業は5.9%減の581億円で、農業が8.0%減の458億円、林業が2.4%減の53億円となったが、水産業は7%増の70億円となった。

Ⅱ 農 業

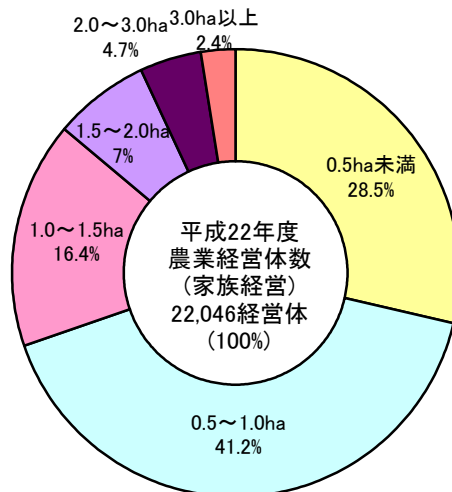
1 農業の構造 (1) 農業経営体

農業経営体の推移



資料：農林水産省「2010年農林業センサス」
 ※平成12年値は、販売農家、農家以外の農業事業体及び農業サービス事業体の合計値である。

**経営耕地面積規模別経営体数割合
(農業経営体のうち家族経営)**

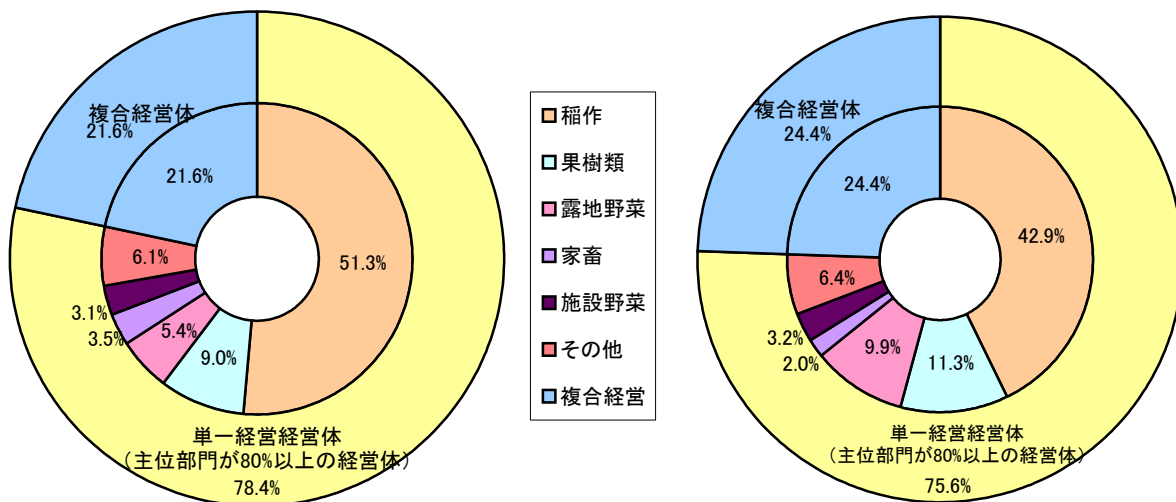


資料：農林水産省「2010年農林業センサス」

農業経営組織別経営体数割合(農業経営体のうち家族経営)

全国(平.22)
 販売のあった経営体150万6,576経営体
 (100.0%)

徳島(平.22)
 販売のあった経営体2万0,332経営体
 (100.0%)



資料：農林水産省「2010年農林業センサス」

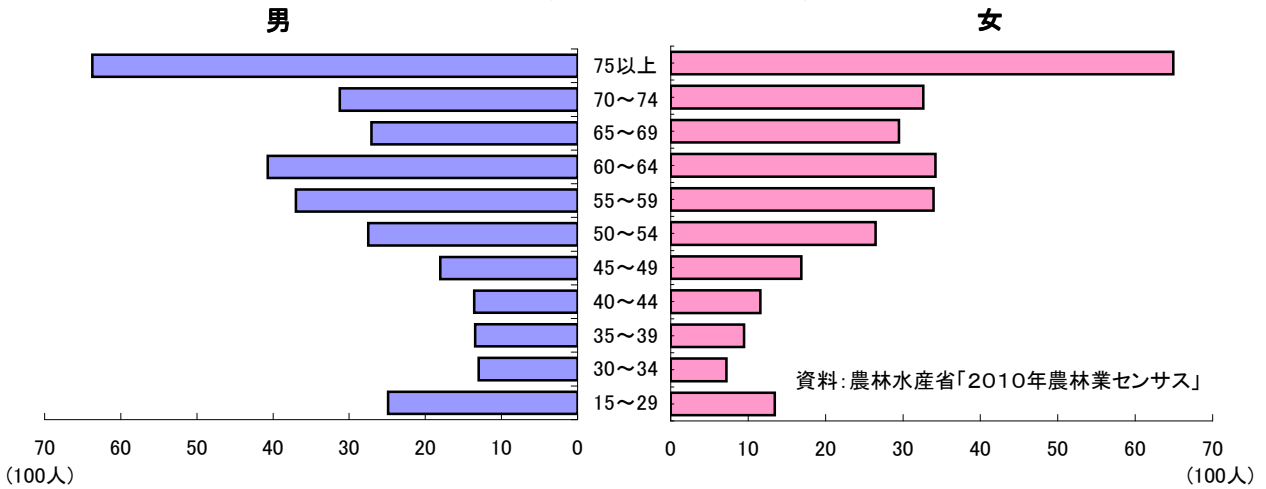
———野菜と果樹のウエイトが高い本県の農業———

2010年農林業センサスにおける本県の農業経営体数は22,579経営体となっており、また、農業経営体数のうち家族経営は22,046経営体となっている。

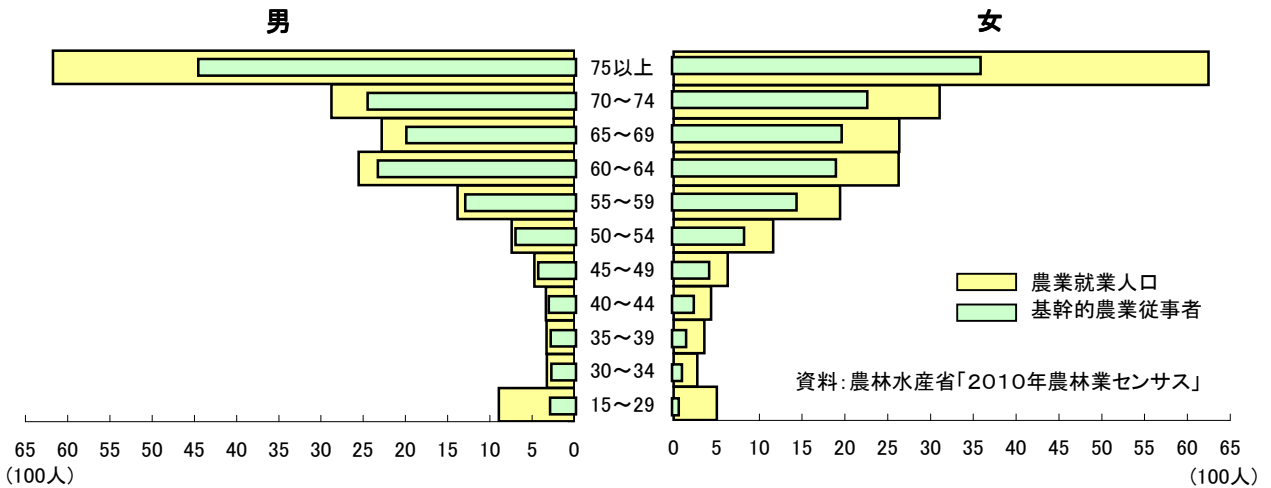
農業経営体(家族経営)の経営形態を農産物の販売状況からみると、本県は全国に比べ野菜と果樹のウエイトが高い特徴が出ている。これを単一経営体の部門別割合で見ると、本県は野菜(露地+施設)が13.1%で全国より4.6ポイント高く、果樹も11.3%で全国より2.3ポイント高くなっている。

(2) 農業従事者数・農業就業人口・基幹的農業従事者数

年齢階層別農業従事者数(販売農家)



年齢階層別農業就業人口・基幹的農業従事者数(販売農家)



農業就業人口の年齢構成比

区分	合計	15~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85歳以上
徳島	100%	3.7%	1.6%	1.8%	2.0%	2.9%	5.0%	8.7%	13.5%	12.8%	15.6%	16.1%	11.6%	4.7%
全国	100%	3.5%	1.5%	1.9%	2.3%	3.3%	5.2%	8.5%	12.2%	13.8%	16.7%	16.2%	10.5%	4.3%

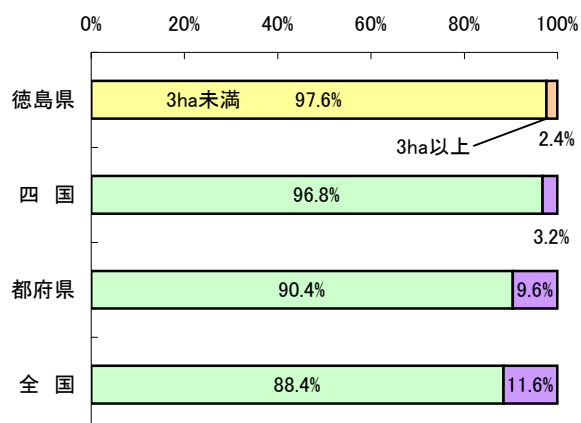
———農業就業人口の年齢構成比———

農業経営体(家族経営)の世帯員のうち、過去1年間に農業に1日以上従事した者(農業従事者)は5万9,029人であった。

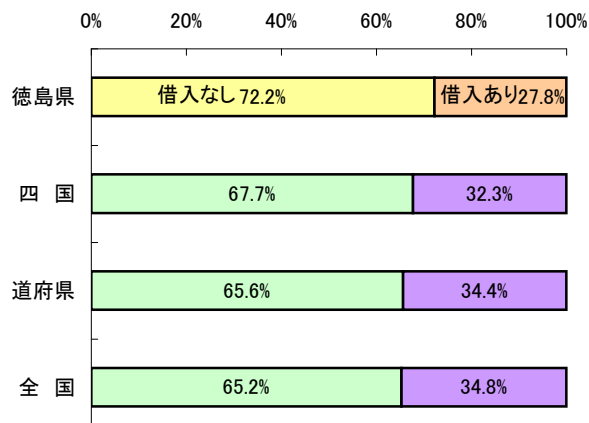
また、65歳以上の農業就業人口は2万3,321人で、農業就業人口全体の60.8%を占め、全国より0.7ポイント低く、男女別では女性が51.4%を占めている。

(3) 農業経営体の状況(平成22年2月1日現在)

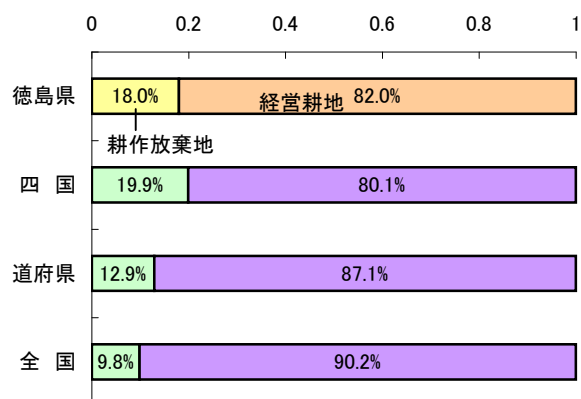
経営耕地規模別経営体数の割合



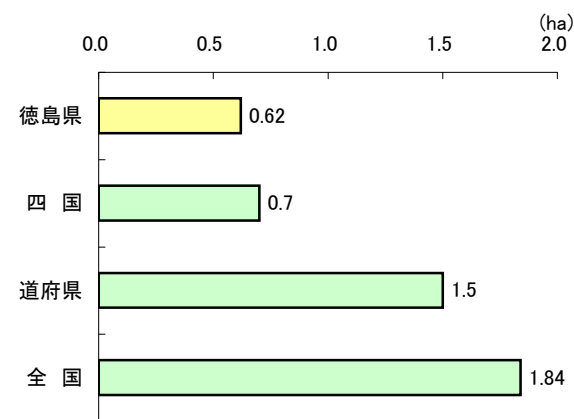
借入耕地のある経営体数の割合



耕作放棄地率



1経営体当たり借入耕地面積



《経営耕地3ha以上の経営体の割合は、都府県平均の約5分の1》

区分	単位	徳島県	四国	都府県	全国
(A) 農業経営体	経営体	22,046	99,660	1,632,484	1,679,031
(B) 家族経営	〃	21,840	98,591	1,604,131	1,648,440
(C) 経営耕地のある経営体	〃	21,901	99,015	1,615,967	1,661,447
(D) 経営耕地3ha以上の経営体	〃	533	3,199	154,828	192,221
(E) 借入耕地のある経営体	〃	6,092	31,978	556,126	577,429
(F) 経営耕地面積	ha	20,363	96,392	2,564,991	3,633,245
(G) 借入耕地面積	〃	3,753	22,327	831,832	1,063,201
(H) 耕作放棄地面積(農家+土地持ち非農家)	〃	4,464	23,956	378,456	396,088
経営耕地3ha以上の経営体数割合(家族経営) D/C	%	2.4	3.2	9.6	11.5
借入耕地のある家族経営体の割合 E/C	〃	27.8	32.3	34.4	34.8
1経営体当たり借入耕地面積(家族経営) G/E	ha	0.6	0.7	1.5	1.8

資料:農林水産省「2010年農林業センサス」

注:耕作放棄地面積は農家及び土地持ち非農家(農家以外で耕地及び耕作放棄地を5a以上所有している世帯の耕作放棄地を含む。)

$$\text{耕作放棄地率(\%)} = \frac{\text{耕作放棄地面積}}{\text{(農家の経営耕地面積+耕作放棄地面積)}} \times 100$$

(4) 経営感覚に優れた経営体の育成

ア 認定農業者の数(平成23年3月末日現在)

区分	認定農業者	うち法人
徳島県	2,791	135
中国四国	21,813	1,788
全国	246,394	14,967

資料:認定農業者、特定農業法人、特定農業団体の認定状況
(農林水産省経営局)

認定農業者制度とは、「農業経営基盤強化促進法」に基づき適用されるもので、経営改善に意欲ある農業者が農業経営の改善計画を作成し、その計画を市町村の基本構想に照らして認定する制度であり、次の様な支援措置が設けられている。

- ・農業委員会等による農地利用集積の支援
- ・税制上の特例
- ・制度資金の融資配慮
- ・農業者年金の保険料の助成
- ・経営相談、研修等の実施等

イ 農業生産法人の設立状況(平成23年1月1日現在)

(ア) 農業生産法人の数

区分	農事組合法人	株式会社(特例有限会社を除く)	株式会社(特例有限会社)	合名会社	合資会社	合同会社	合計
徳島県	14	19	37	1	1	0	72
中国四国	629	256	559	1	4	6	1,455
全国	3,154	2,135	6,572	11	54	126	12,052

資料:農地法の施行状況等に関する調査(農林水産省経営局)

農業生産法人とは、農地法第2条7項に規定された呼び名です。農業の経営主体として、農業経営力の強化や農業の担い手確保を図るうえで、次のような優れた面を有する。

- ・家計と経営との経理が明確に区分され、経営管理能力の向上が見込まれる。
- ・構成員の相続が発生した場合にも安定な経営が行われる。
- ・雇用者に対する社会保障制度の整備が見込まれる。

(イ) 業種別農業生産法人数(主たるもの)

区分	米麦作	果樹	畜産	そ 菜	工芸作物	花き・花木	その他	合計
徳島県	13	11	6	27	0	9	6	72
中国四国	706	198	146	208	14	100	83	1,455
全国	4,397	915	2,423	2,068	451	790	1,008	12,052

資料:農地法の施行状況等に関する調査(農林水産省経営局)

注:北海道は10ha以上

——多様な担い手づくりの推進——

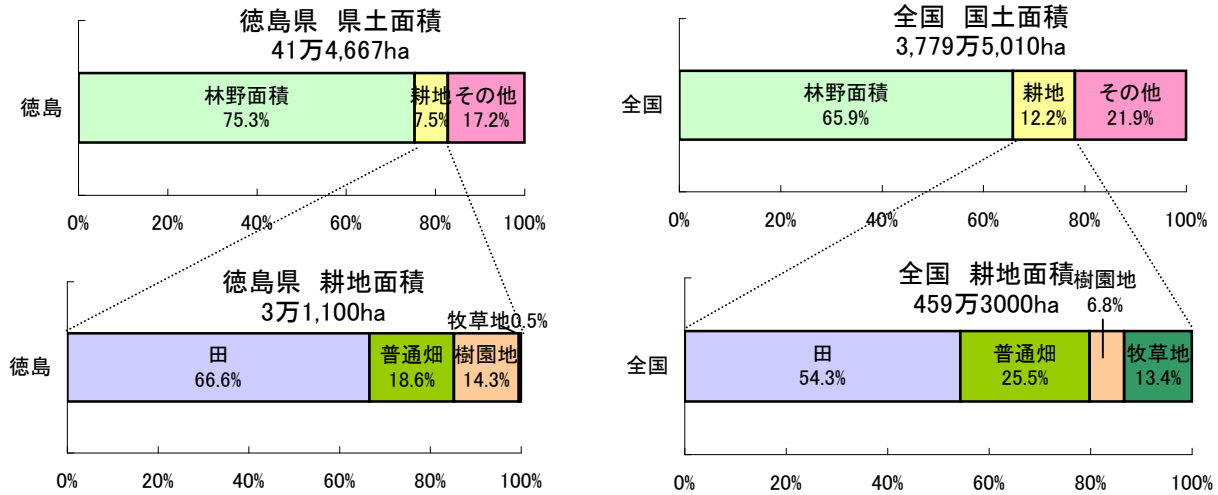
認定農業者や農業法人などの経営感覚に優れた意欲ある担い手や集落営農組織を育成するため、経営情報の提供、技術・経営指導、融資等の支援を行っている。また、農村地域を支える女性やこれからの本県農業の担い手としての活躍が期待されている青年農業者や新規就農者の育成など、農業農村の多様な担い手の育成を推進している。

平成23年3月末日の認定農業者数は2,791経営体で、前年に比べ16経営体増加しており、平成19年3月末日からの5年間でみると669経営体増加した。

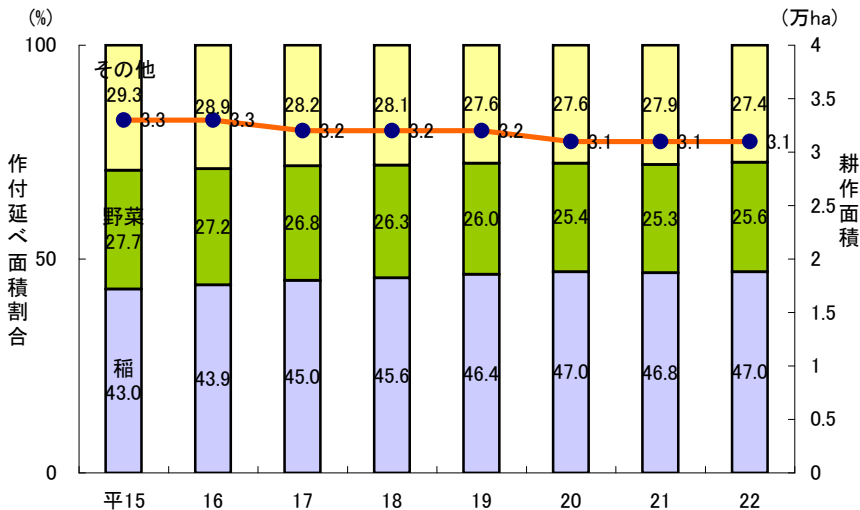
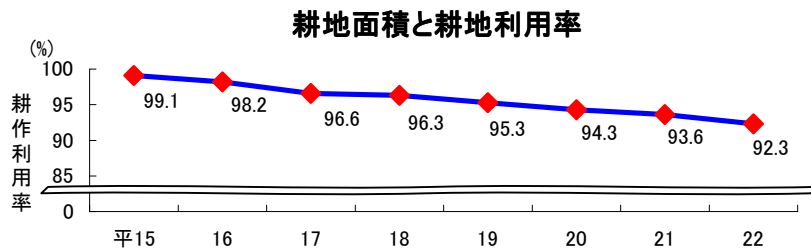
認定農業者のうちの農業法人数は135法人で、前年に比べ12法人増加した。平成19年3月末日からの5年間でみると33法人増加し、1.3倍となっている。

(5) 耕地

土地利用(平.22)

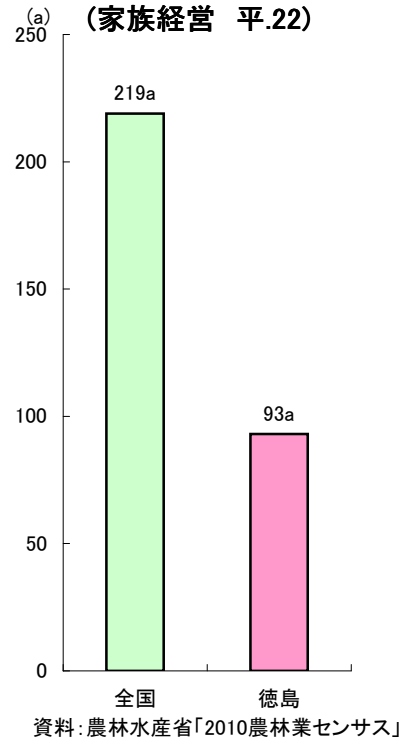


資料:面積は「国土地理院」
林野面積は「2010年農林業センサス」



資料:農林水産省「作物統計調査」

1経営体当たり 経営耕地面積 (家族経営 平.22)



資料:農林水産省「2010農林業センサス」

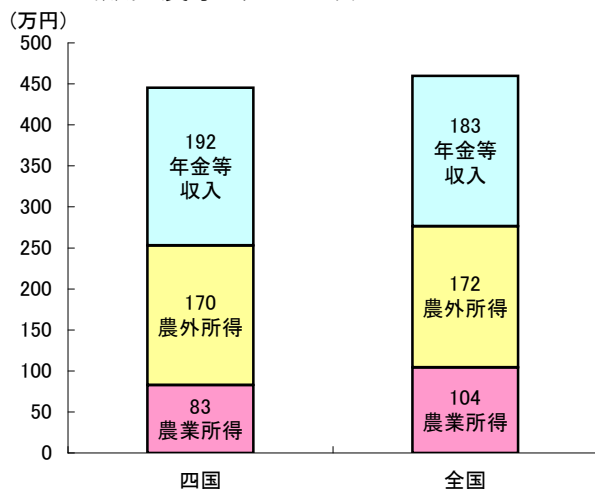
環境に調和した農業生産基盤の整備

農業の生産性向上や野菜、麦、大豆など多様な作物の栽培が可能となるよう、良好な営農条件を備えた農地、農業用水を確保するため、環境に調和した、ほ場整備、用排水路、農道等の生産基盤整備のほか、自然災害から、農地や農業施設の保全や機能回復等についても対策を図っている。

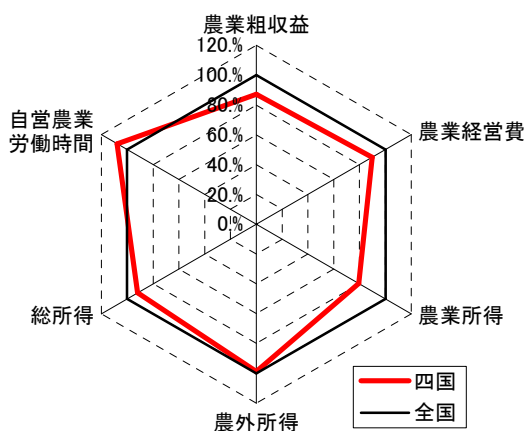
平成22年7月15日現在の耕地面積は3万1,100haで、前年に比べ200ha減少した。また、平成22年2月1日現在における1経営体当たり経営耕地面積は93a(平成17年から9a増)と全国平均に比べて小規模ながら、温暖な気候と恵まれた土地条件等を活かして冬野菜を中心とする園芸産地が形成されるなど土地が有効活用されており、耕地利用率は92.3%と全国平均の92.2%を上回っている。

(6) 農業経営

農業所得及び総所得(平.21) (販売農家1戸当たり)



資料:農林水産省「農業経営統計調査」



資料:農林水産省「農業経営統計調査」

農業経営の指標(平.21) — 個別経営・販売農家1戸当たり —

項目		単位	四国	全国	全国(%)
農業	粗収	1,000円	3,758	4,312	87.2%
農業	経営	1,000円	2,931	3,270	89.6%
農業	所得	1,000円	827	1,042	79.4%
農業生産関連事業及び農外所得		1,000円	1,701	1,723	98.7%
年金等の収入		1,000円	1,924	1,833	105.0%
総所得		1,000円	4,193	4,566	91.8%
租税公課諸負担		1,000円	642	690	93.0%
可処分所得		1,000円	3,551	3,876	91.6%
農業依存度		%	36.4	38.1	*△1.7
農業所得率		%	22.0	24.2	*△2.2
付加価値額		1,000円	974	1,254	77.7%
農業固定資産額(土地を除く)		1,000円	4,955	4,032	122.9%
自営農業労働時間		時間	1,962	1,820	107.8%
経営耕地面積		a	131	222	59.0%
集約度	10a当たり自営農業労働時間	時間	150	82	182.9%
	10a当たり農業固定資産額	1,000円	378	182	207.7%
収益性(所得)	家族農業労働1時間当たり	円	461	628	73.4%
	農業固定資産千円当たり	円	167	258	64.7%
生産性 (付加価値額)	経営耕地10a当たり	1,000円	74	56	132.1%
	自営農業労働1時間当たり	円	496	689	72.0%
	農業固定資産千円当たり	円	197	311	63.3%

資料:農林水産省「農業経営統計調査」

*はポイント差

平成21年の四国における販売農家1戸当たりの農業所得は82万7,000円となった。
また、農業所得以外(生産関連事業、農業所得及び年金等)の収入を含めた総所得は445万2,000円となった。
農業純生産(農業生産によって新たに生み出された付加価値額)を経営耕地10a当たりで見ると、7万4,000円で全国平均の約1.3倍となっている。

2 農 業 生 産

(1)生産の概要

ア 農業生産の現状(作物別統計表)

項 目	年 次	作 付 (栽 培) 面 積			収 穫 量	全 国 比 較				
		県 計	第 一 位 市 町 村	シエア		作 付 (栽 培) 面 積		収 穫 量		
					シエア	順 位	シエア	順 位		
耕 種	水 稲	H23	13200ha	阿南市	22.1%	61,100t	0.84%	39位	0.72%	39位
	"	H22	13,500	阿南市	22.0%	63600t	0.8%	39位	0.8%	38位
	"	H21	13,700	阿南市	22.4%	64,500	0.8%	39位	0.8%	38位
	小 麦	H23	79	美馬市	39.0%	233	0.03%	35位	0.03%	29位
	二 条 大 麦	"	13	美馬市	69.0%	50	0.03%	19位	0.04%	19位
	か ん し ょ	H22	1,160			26,700	2.9%	6位	3.1%	6位
	ば れ い し ょ	"	146			2,310	0.2%	39位	0.1%	39位
	き ゅ う り	"	77			7,400	0.6%	41位	1.3%	23位
	ト マ ト	"	86			5,490	0.7%	40位	0.8%	30位
	う ち ミ ニ ト マ ト	"	25			1,410	1.3%	24位	1.3%	18位
	な す	"	121			9,020	1.2%	33位	2.7%	12位
	し し と う	"	16			418	4.1%	6位	4.8%	4位
	は く さ い	"	96			4,810	0.5%	39位	0.5%	32位
	キ ャ ベ ツ	"	156			6,300	0.5%	42位	0.5%	35位
	ほ う れ ん そ う	"	685			6,840	3.1%	10位	2.5%	11位
	ブ ロ ッ コ リ ー	"	469			4,880	3.5%	11位	3.8%	10位
	カ リ フ ラ ワ ー	"	98			2,480	7.4%	3位	11.0%	1位
	レ タ ス	"	400			7,510	1.9%	14位	1.4%	13位
	ね ぎ	"	197			3,180	0.9%	34位	0.7%	31位
	た ま ね ぎ	"	93			3,270	0.4%	33位	0.3%	27位
だ い こ ん	"	475			35,300	1.3%	25位	2.4%	11位	
に ん じ ん	"	984			51,000	5.2%	4位	8.6%	3位	
れ ん こ ん	"	543			7,600	13.5%	2位	12.6%	2位	
み か ん	H22	935			10,300	1.9%	14位	1.3%	17位	
日 本 な し	"	248			5,470	1.7%	15位	2.1%	13位	
う め	"	244			809	1.4%	25位	0.9%	8位	
く り	"	153			153	0.7%	33位	0.5%	17位	

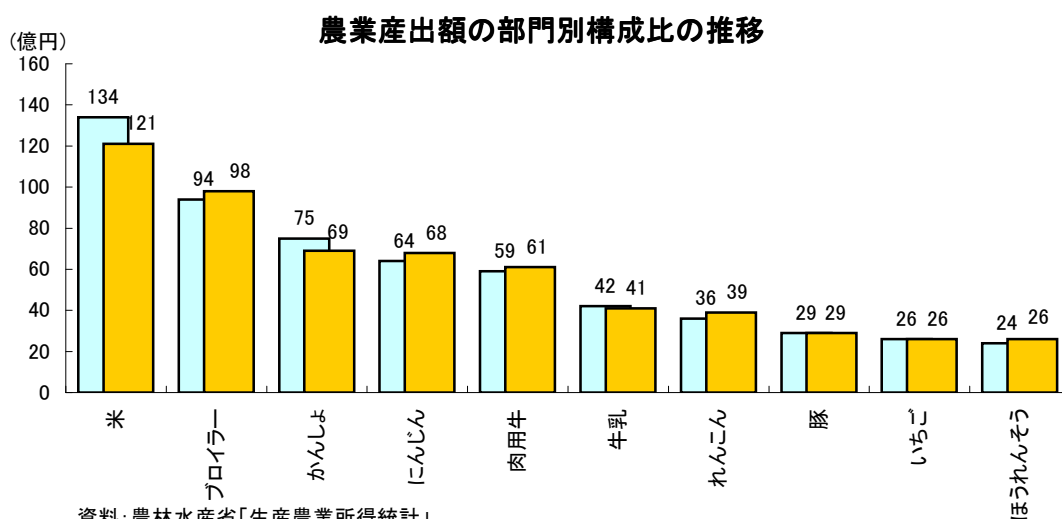
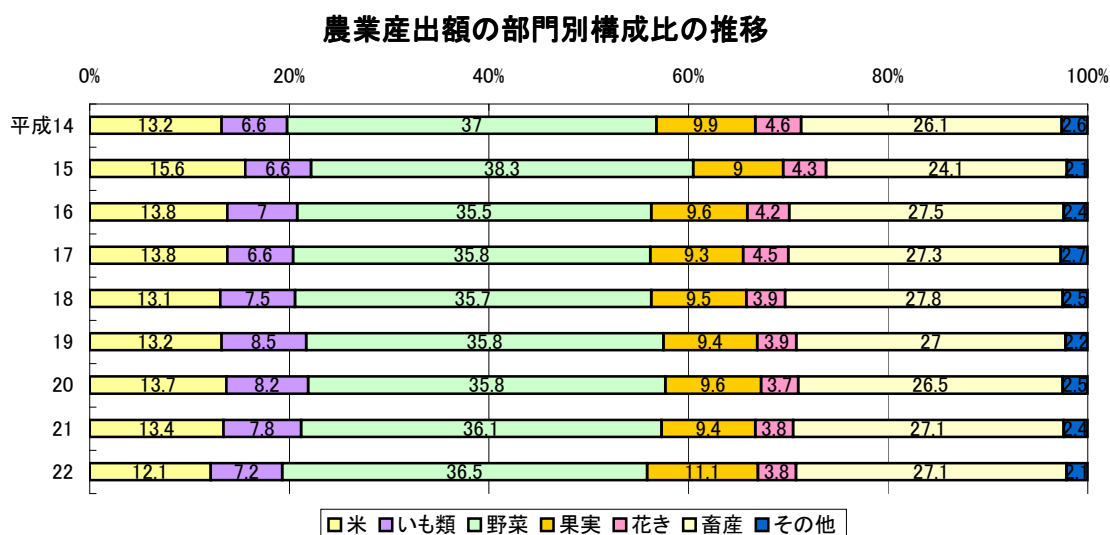
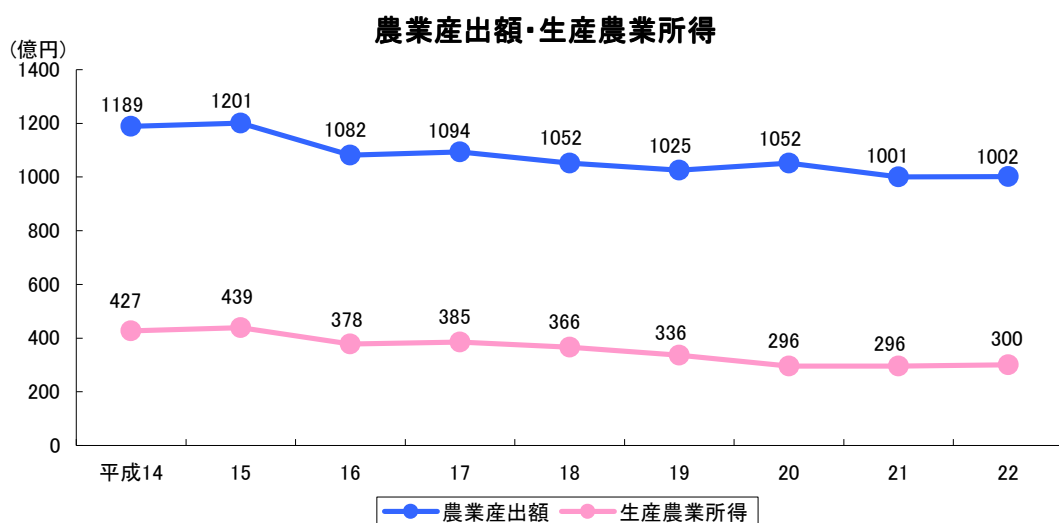
注:野菜の作付面積及び収穫量,果樹の収穫量については,調査対象都道府県順位による

資料:農林水産省「作物統計調査」、とくしまブランド課調べ

項 目	単 位	調 査 期 日	飼 養 頭 羽 数	全 国 比 較		
				シ エ ア	順 位	
畜 産	肉 用 牛	頭	平23.2.1	27,600	1.0%	24 位
	乳 用 牛	"	"	6,340	0.4	31 位
	豚	"	"	40,100	0.4	32 位
	採 卵 鶏	1000羽	"	731	0.4	38 位
	ブ ロ イ ラ ー	"	H21.2.1	4,466	4.2	5 位

資料:農林水産省「畜産統計調査」「食鳥流通統計調査」

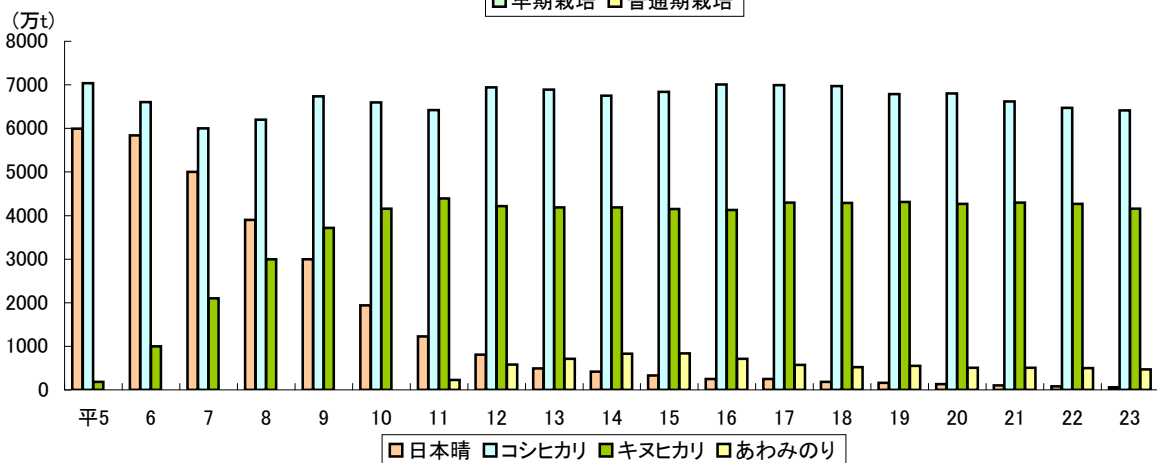
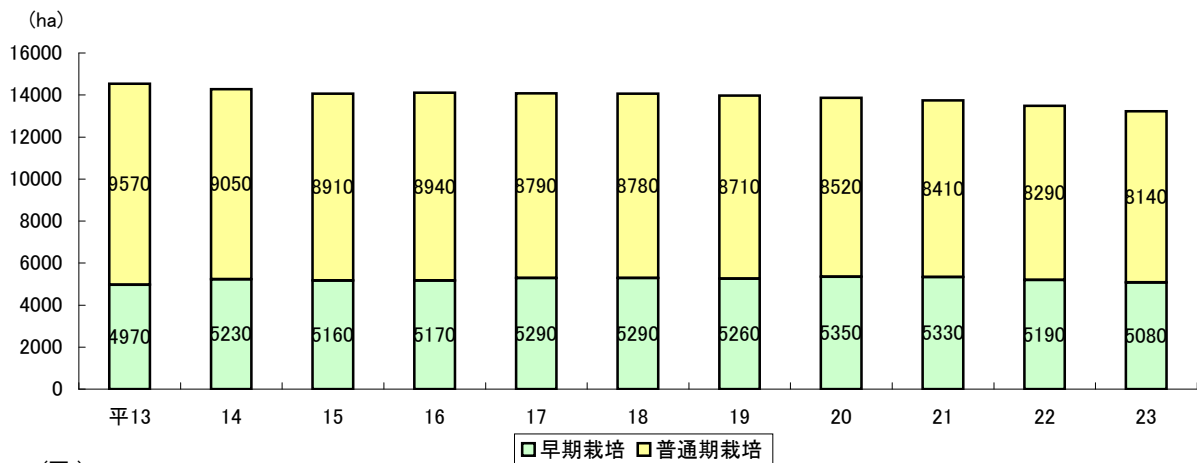
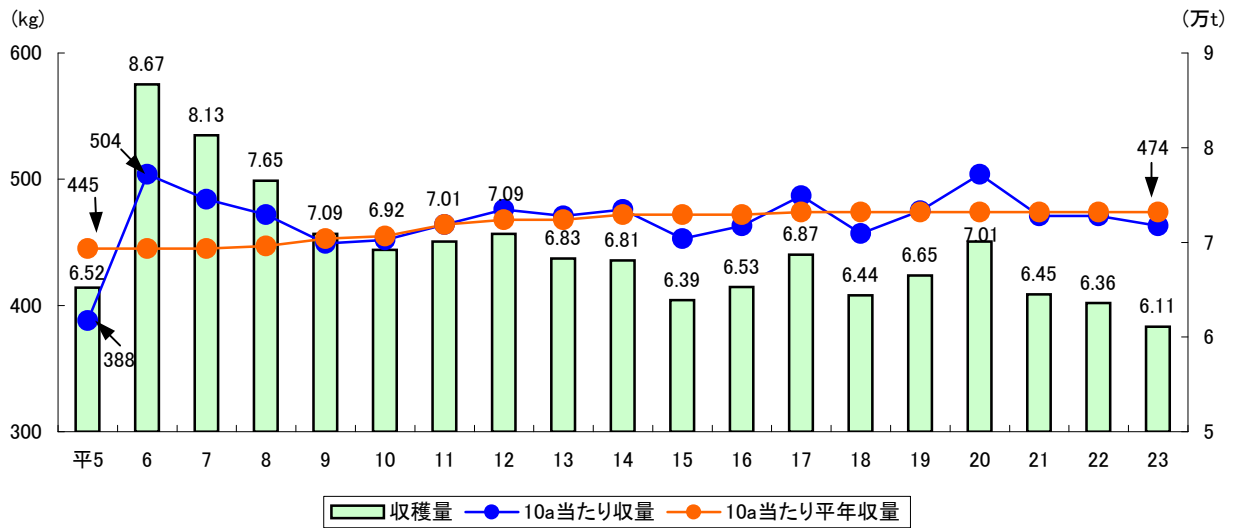
イ 農業産出額・生産農業所得



徳島県における平成22年の農業産出額は1,002億円となった。
これを部門別で見ると、順位は前年と変わらず、野菜が36.5%を占め最も高く、次いで畜産27.1%、米12.1%、果実11.1%の順となっている。品目別では米、ブロイラー、かんしょ、にんじん、肉用牛の順となっており、これらの上位5品目で全体の約4割以上を占めている。

(2)米

10a当たり収量及び収穫量(平.5～平.23)



——10a当たり収量は474kg——

平成23年産水稻の作付面積は1万3,200haで、前年に比べ300ha減少した。10a当たり収量は474kgで、作況指数は98となり、収穫量は6万1,100tとなった。

品種別の作付状況は消費者の良食味米指向などから全体の5割がコシヒカリ、3割がキヌヒカリとなっている。

平成22年度戸別補償モデル対策の取組状況

項 目		実 績
地域水田農業推進協議会 ・協議会設立数		25協議会
生産数量目標配分農業者数(a)		45,942名(100%)
個別所得補償モデル対策交付件数(b) (b/a)		8,360件(18.2%)
①米個別所得補償モデル事業交付件数(c) (c/a)		4,819件(10.5%)
" 定額部分交付額		304,478千円
" 変動部分交付額		306,568千円
" 交付面積(控除面積含む)		2,030ha(2,512ha)
②水田利活用自給力向上事業交付件数(d) (d/a)		6,205件(13.5%)
" 交付額		1,092,075千円
" 交付面積		4,599ha
③耕畜連携粗飼料増産対策事業		16名、集団
" 交付額		2,394千円
" 交付面積		22ha

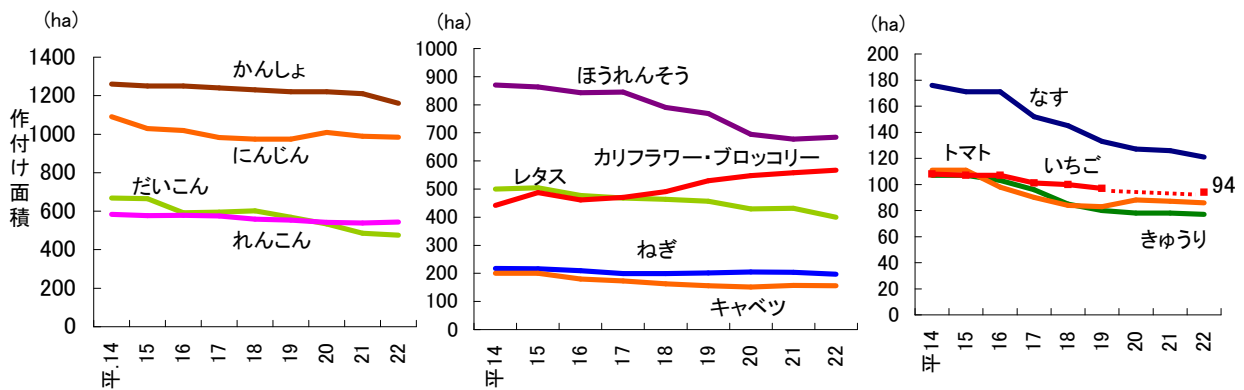
平成22年度水田利活用持久力向上事業による交付実績

作 物 名	助成対象面積(ha)
麦	59.3
大豆	41.3
そば	4.4
飼料作物	256.8
(うちホールクロープサイレージ)	46.2
新規需要米(米粉用米)	17.6
新規需要米(飼料用米)	179.8
その他(野菜・果樹・地力増進作物等)	2,010.7
合 計	4,599.6ha

食料自給率の向上と水田農業の経営安定を図り、農業と地域の再生を図ることを目的とし、平成23年度から本格実施されている戸別所得補償制度に先立ち、平成22年度は戸別所得補償モデル対策が実施された。

この対策において平成22年度は、前年度の対策との交付金額に差がある品目について、水田利活用自給力向上事業と一体的に激変緩和措置の設定を行い、麦、大豆、飼料作物への上乗せ加算を行った。また、その他作物の助成についても、野菜、花き、果樹、地力増進作物等への加算を行い、本県野菜等の園芸品目の産地づくりが継続されるよう措置を行った。

(3) 野菜

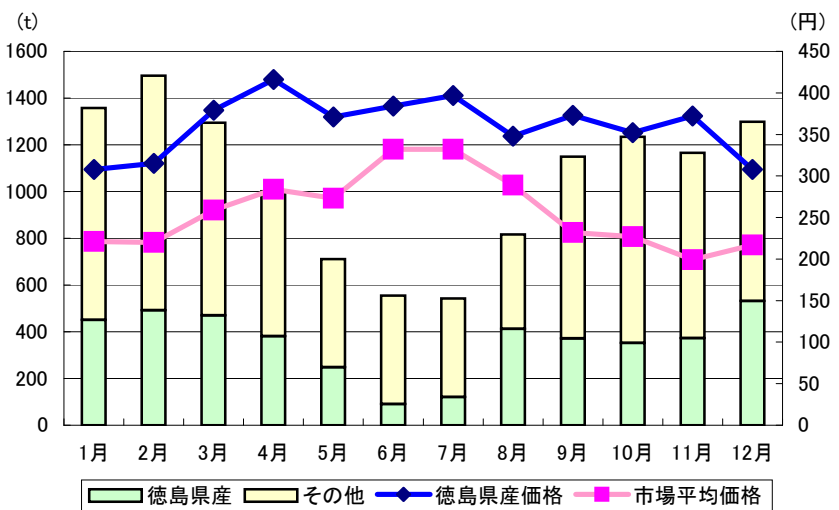


かんしょ(さつまいも)の作付面積及び収穫量
 収穫量は全国第6位、大阪中央卸売市場での取扱量は第2位(占有率34.0%)

収穫量の全国上位都道府県(H.22)

順位	都道府県	作付面積:ha	収穫量:t
全	国	39,700	863,600
1	鹿児島	14,300	347,500
2	茨城	6,480	155,700
3	千葉	4,700	100,600
4	宮崎	3,040	77,200
5	熊本	1,210	27,000
6	徳島	1,160	26,700
7	静岡	858	12,200
8	高知	481	...
9	愛知	475	6,600
10	長崎	459	6,540

大阪中央卸売市場における月別取扱量及び価格(H.23)



かんしょは、5割以上がでん粉や焼酎等に向けられるが、徳島県産は「なると金時」として市場に出荷され京阪神市場で高いシェアがある。大阪中央卸売市場では、食味の良さが評価され市場平均価格に比べ本県産の価格は約4割高となっており、取扱量も全体の約1/3を占めている。

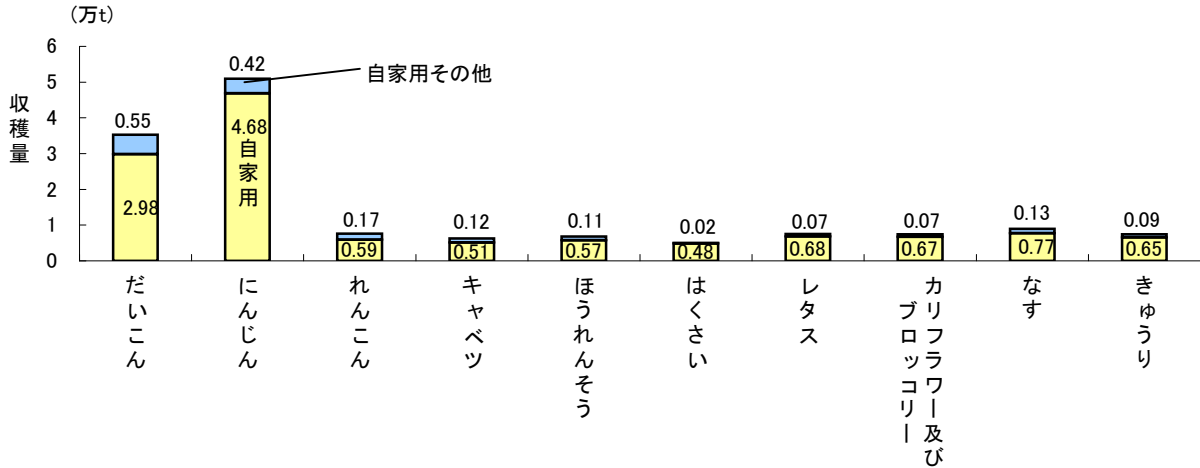
資料：農林水産省「作物統計調査」、大阪中央卸売市場「青果物流通年報」

情報の発信機能の強化を目指す

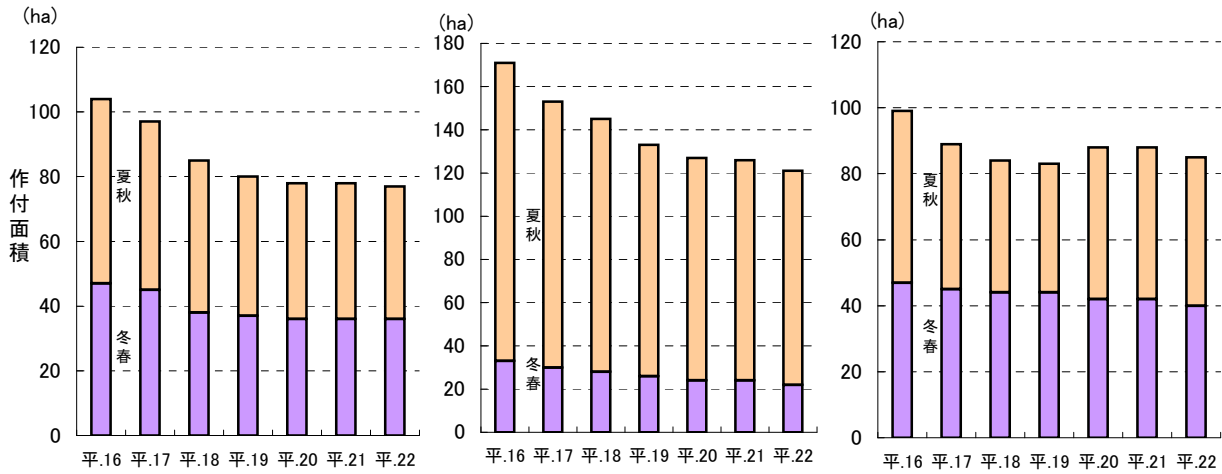
本県は、豊かな自然環境や立地条件に恵まれ多様で豊富な食材を有しているが、広域交通体系・高度情報化の進展による多チャンネル化、食品に対する安全・安心への高まり、食生活や嗜好の多様化等で本県農畜産物流通を取り巻く環境は大きく変化している。

これらの変化に即応するため、インターネット、マスメディア等を活用した県産品・産地の情報発信や「新鮮なっ！とくしま」号の展開による「徳島ならではの」PR活動により、消費者ニーズの把握と認知度向上に取り組んでいる。

主要野菜の収穫量及び出荷量(H.22)



主要野菜作付面積と季節区分割合(H.22)



資料:農林水産省「作物統計調査」

単位:ha

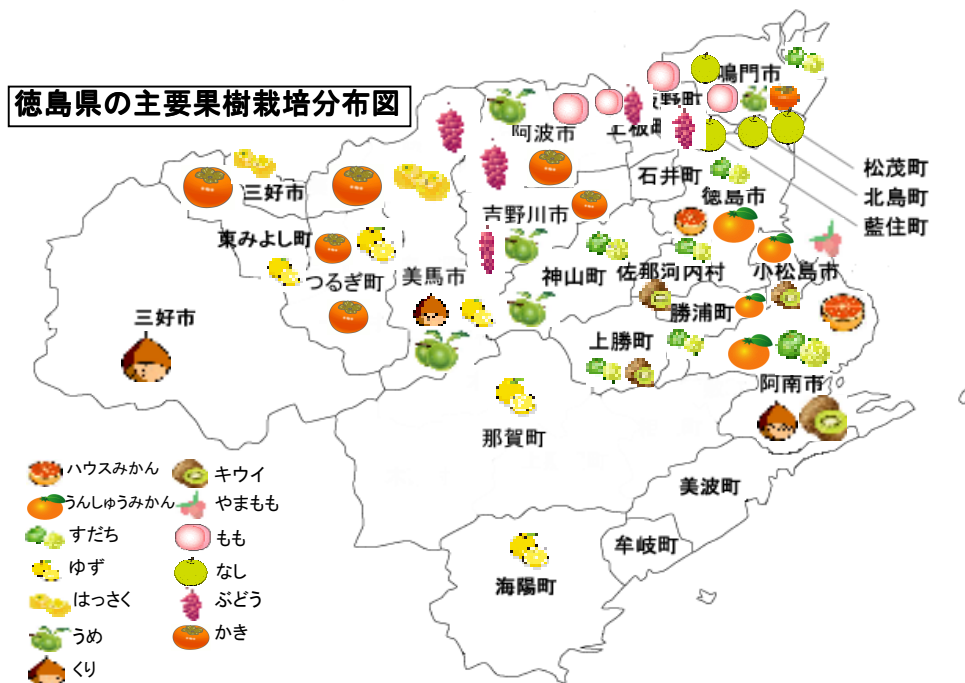
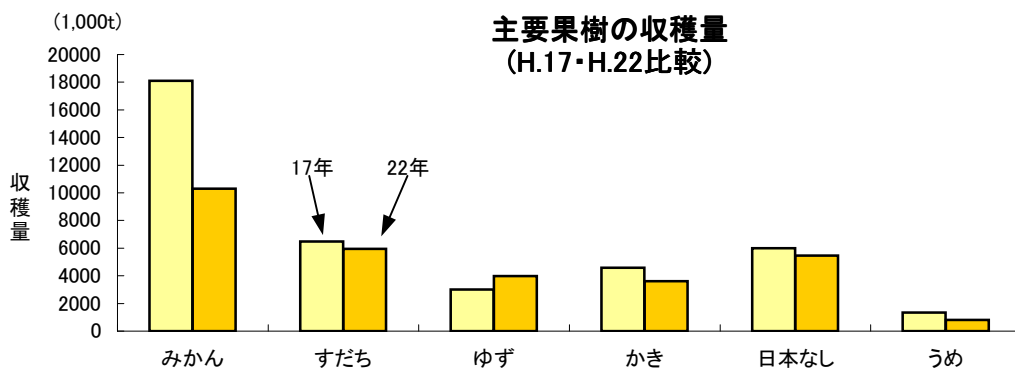
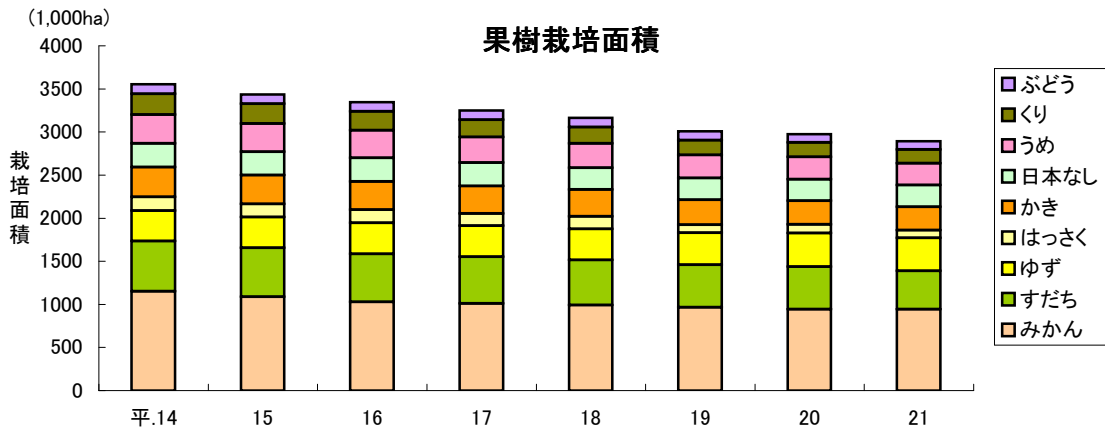
区分	きゅうり			なす			トマト		
	作付面積	季節区分		作付面積	季節区分		作付面積	季節区分	
		冬春	夏秋		冬春	夏秋		冬春	夏秋
平 15	107	49	58	171	33	138	111	53	58
16	103	47	57	171	33	138	98	47	52
17	96	45	52	152	30	123	90	45	44
18	85	38	47	145	28	117	84	44	40
19	80	37	43	133	26	107	83	44	39
20	78	36	42	127	24	103	88	42	46
21	78	36	42	126	24	102	87	42	46
22	77	36	41	121	22	99	86	40	45

資料:農林水産省「作物統計調査」

「新鮮とくしまブランド戦略」の推進

新鮮食料供給地として県内外の消費者の信頼を確保するとともに、輸入農産物にも負けない力強い産地を育成するため、品質や供給力の向上を図りながら、生産から販売までの総合的な戦略を展開し、県産農林水産物の価値を高め、産地と品目の「とくしまブランド」化を目指している。

(4) 果樹

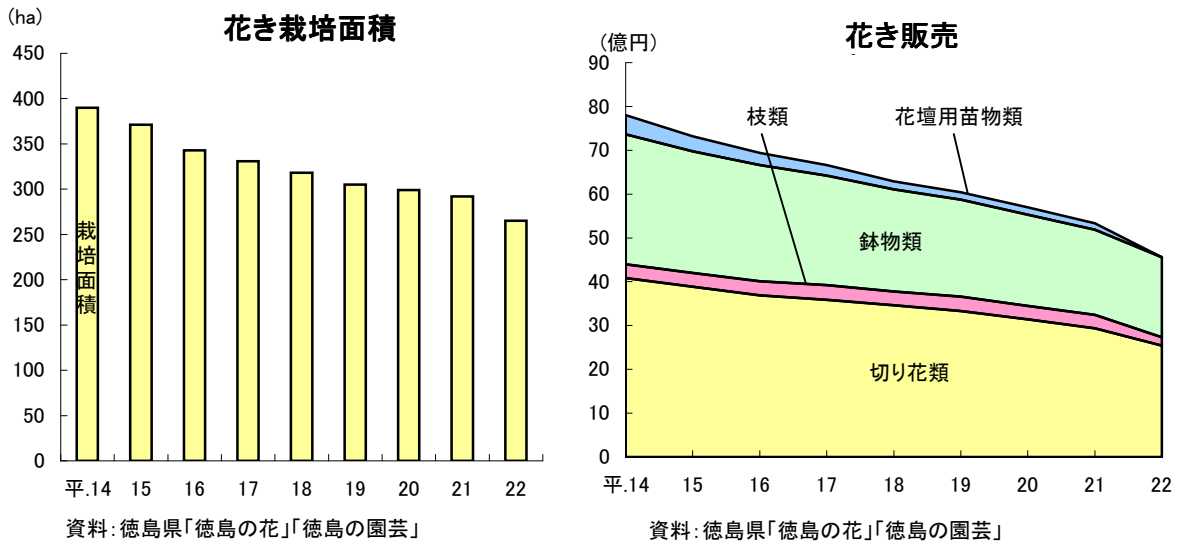


——ブランド果実の生産拡大を推進——

本県は、平成23年に策定した「徳島県果樹農業振興計画書」に基づいて、恵まれた自然環境のもと、すだちに代表されるブランド品目等の高品質な果実の生産振興を図っているが、近年は高齢化等により生産量が減少傾向。

平成22年度果樹の栽培面積は3,200haで、種類別面積割合は、みかん29.2%、その他かんきつが33.7%で約6割を占め、主要果樹のかき8.2%、うめ7.6%、日本なし7.6%を加えると全果樹の8割以上となっている。

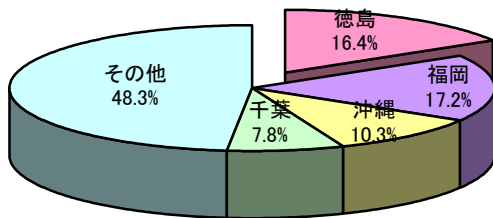
(5) 花き



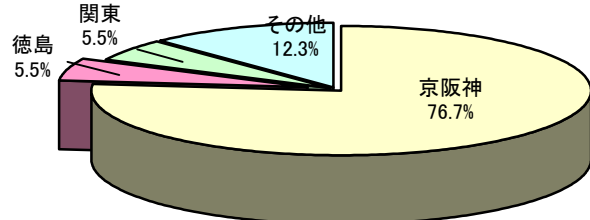
平成22年花き栽培面積は265haで、前年に比べ27ha減少した。類別にみると、切り花類は122haで、キク類、ユリ類ほか減少している品目が多く、前年に比べ85%、枝物類は121haで、前年並み、鉢物類は22haで減少傾向にあり、前年に比べ87%、花壇用苗物類は0.3haとなっている。

——洋ランの切花は全国で第2位の出荷量——

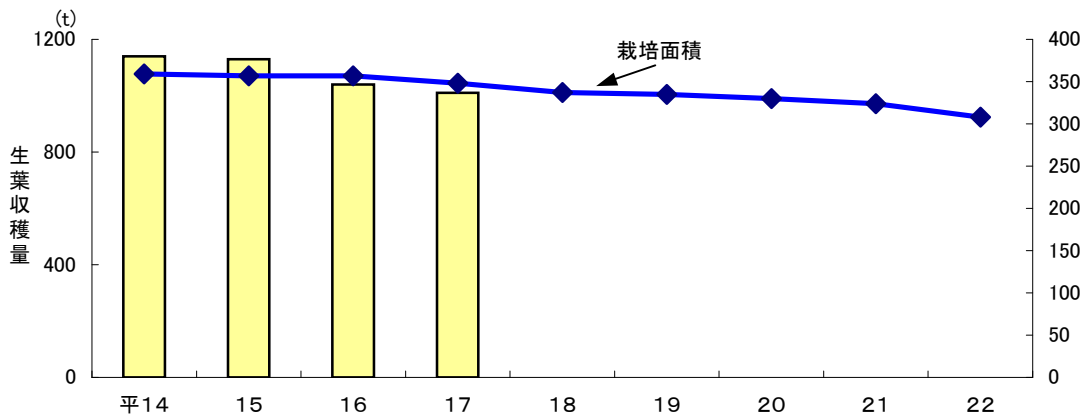
洋ラン(切り花)都道府県別出荷量割合 (H.22)



洋ラン(切り花)都道府県別出荷量割合 (H.22)



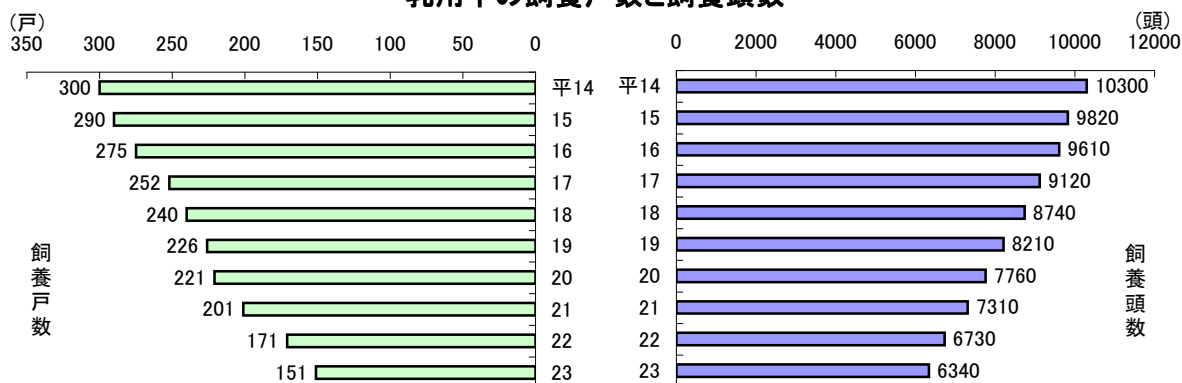
(6) 茶



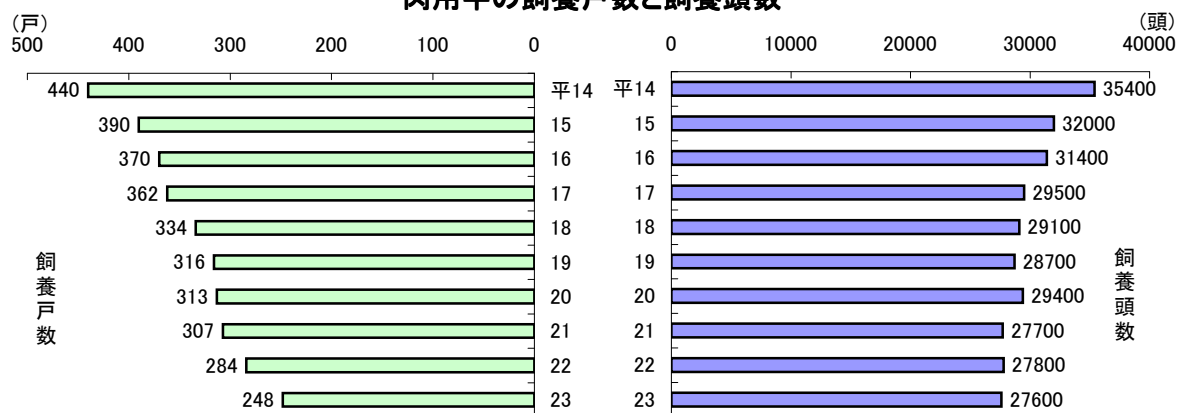
※平成18年以降は収穫量は調査していない。(主産県のみ調査)
資料: 農林水産省「作物統計調査」

(7) 畜産

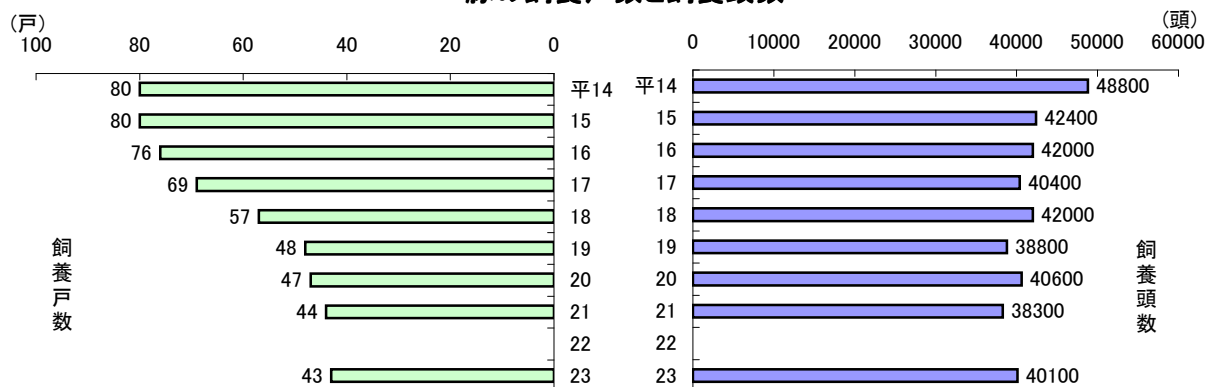
乳用牛の飼養戸数と飼養頭数



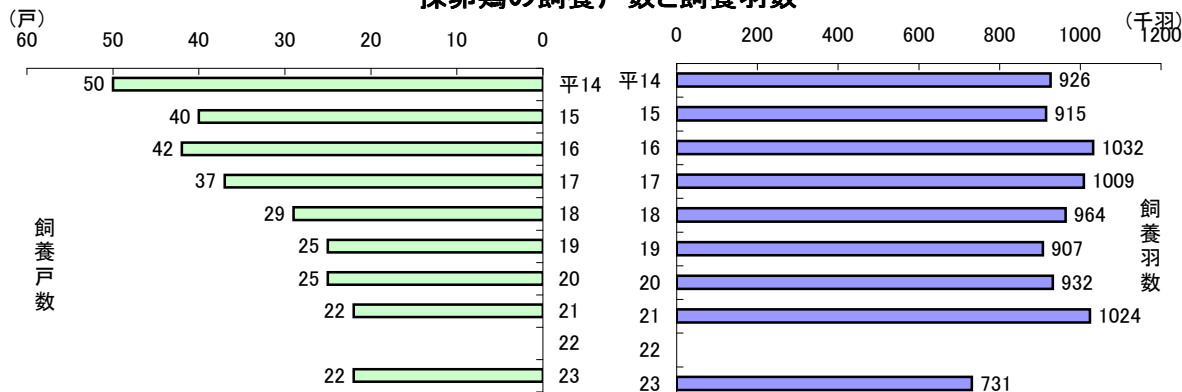
肉用牛の飼養戸数と飼養頭数



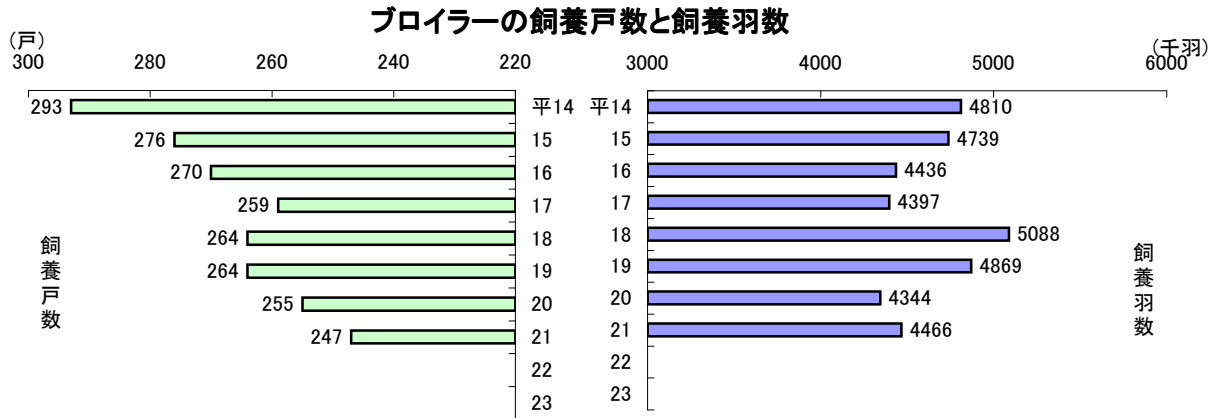
豚の飼養戸数と飼養頭数



採卵鶏の飼養戸数と飼養羽数

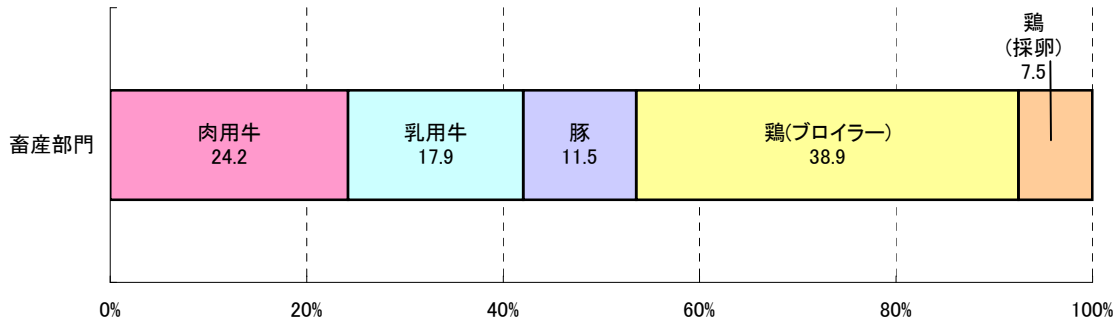


注：平成22年の豚、採卵鶏は調査休止



注:平成22年からブロイラーは調査休止

農業粗生産額畜産部門構成比(平.22)



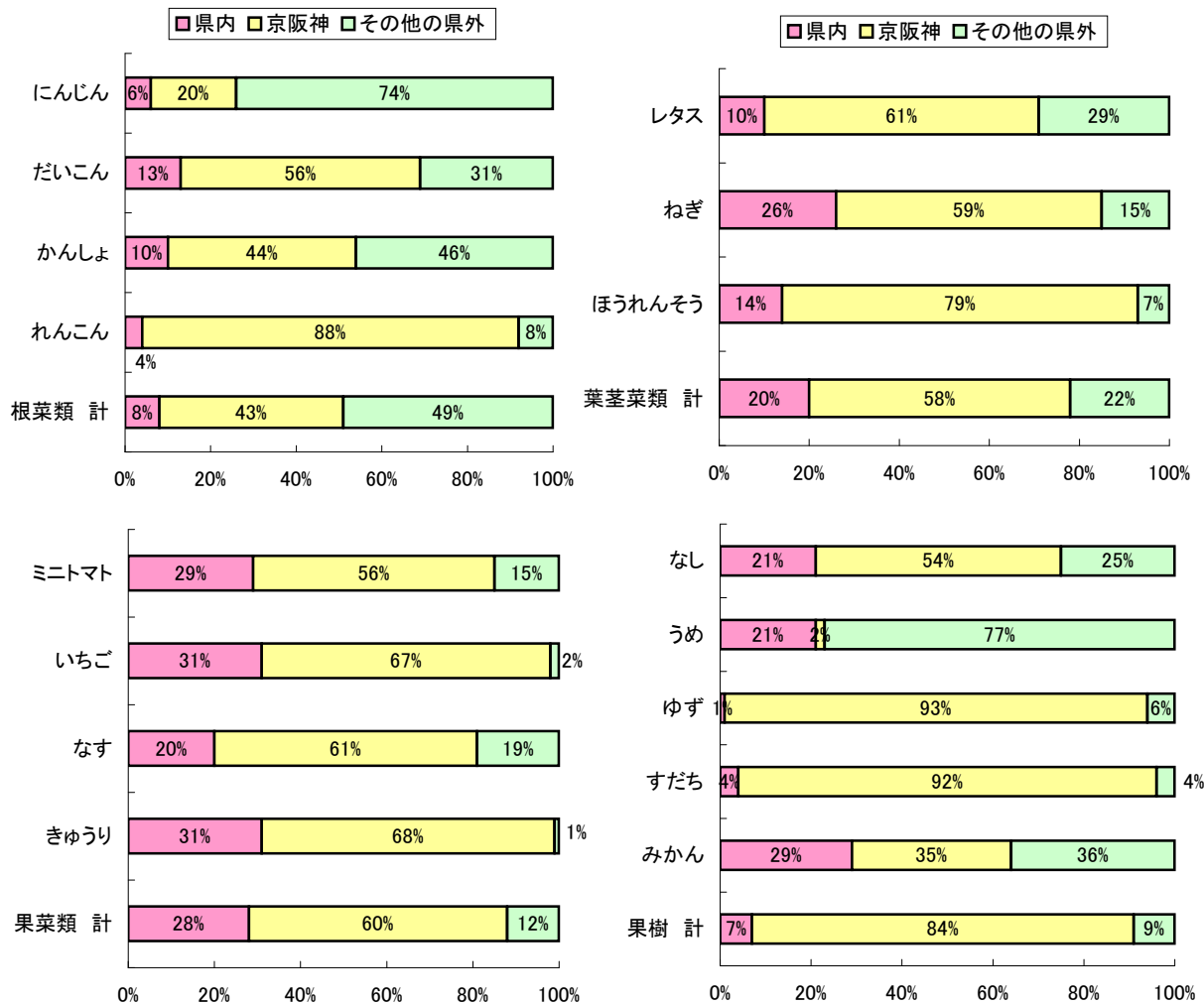
———高品質で安全・安心な畜産物の供給———

畜産業の振興を図るため、活力ある畜産経営の拡大支援や担い手を対象とした畜産物等価格安定対策、家畜改良増殖、家畜伝染病対策、家畜衛生及び処理・加工、流通施設の近代化等力強い生産供給体制の確立を推進している。とりわけ、「阿波尾鶏」等地域畜産ブランドの増産や自給飼料の生産拡大を図り、安全で高品質な畜産ブランドの安定供給に努めている。

また、環境に配慮した農業の一環として、家畜ふん尿の適正処理及び畜産バイオマス資源の循環利用等の家畜環境対策を推進している。

3 農畜産物仕向先別出荷動向(H.22)

主な野菜の仕向先別金額割合(根菜・葉茎菜類・果菜類、果実)



資料: 徳島県「徳島の園芸」

——京阪神への安定供給が続く——

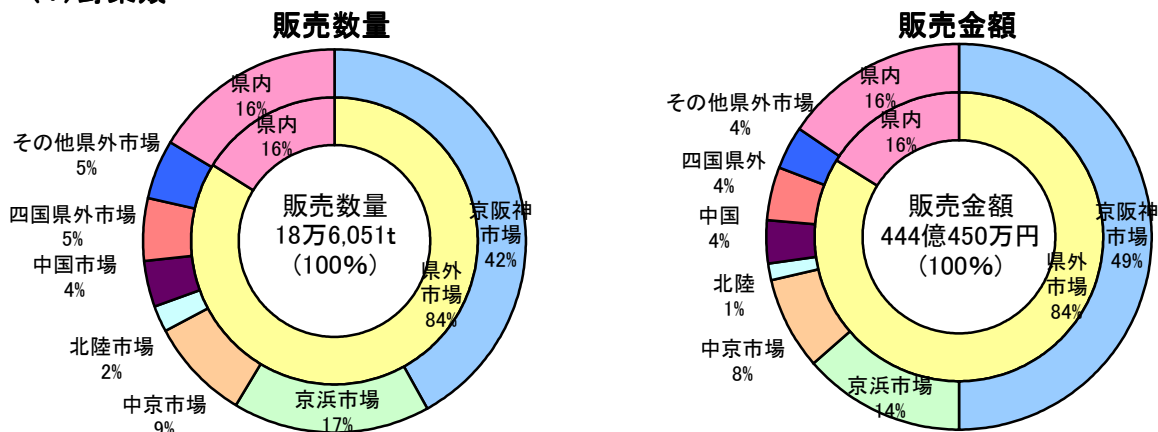
本県は恵まれた立地条件を活かしながら、多様化した消費者動向に即応して、近畿圏等への生鮮食料品の安定供給を続けている。

平成22年産野菜類の市場向け販売数量は18万6,051tで、前年に比べ12,311t(6.2%)減少、同販売金額は444億450万円で、前年に比べ8億2,574万円(1.9%)増加した。このうち、京阪神市場は、販売数量で41.8%、販売金額で49.9%を占めている。

果実販売数量は2万3,177tで、前年に比べ2,985t(11.4%)減少、同販売金額は76億6,654万円で、前年に比べ6,680万円(9.5%)増加した。このうち、京阪神市場は、販売数量で32.9%、販売金額で43.5%を占めている。

4 青果物販売動向(H.22)

(1) 野菜類

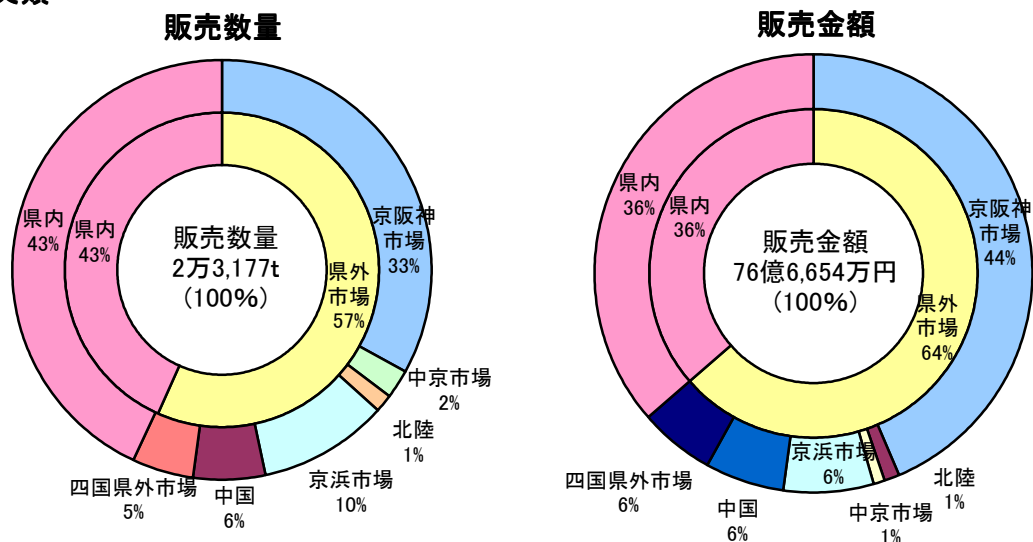


主な卸売市場における出荷数量・金額と県産シェア

区分	総量(うち徳島県産)				本県産比率	
	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	金額(百万円)	数量(%)	金額(%)
京阪神主要7市場	953,583	219,184	59,560	20,116	6.2	9.2
大阪市中央市場本部	310,997	74,760	20,258	7,059	6.5	9.4
大阪市中央東部市場	135,621	27,778	7,010	2,243	5.2	8.1
大阪府中央市場	159,717	35,248	8,638	3,286	5.4	9.3
神戸市中央市場本部	85,597	19,427	7,440	2,732	8.7	14.1
神戸市中央東部市場	21,242	5,590	2,702	1,066	12.7	19.1
尼崎市中央市場	22,598	5,015	2,246	692	9.9	13.8
京都市中央市場	217,811	51,365	11,266	3,038	5.2	5.9
東京都中央市場	1,508,212	365,830	18,229	4,074	1.2	1.1
名古屋市中央市場	399,051	89,555	9,941	2,486	2.5	2.8
徳島市中央市場	57,830	13,511	30,828	7,805	53.3	57.8

資料:各卸売市場年報(うめ、ゆず、すだち、ゆこう、ぎんなん、かぼす、きのこ類を含む)

(2) 果実類

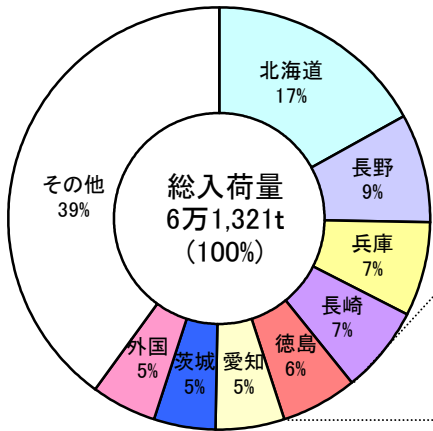


区分	総量(うち徳島県産)				本県産比率	
	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	金額(百万円)	数量(%)	金額(%)
徳島市中央市場	21,867	6,167	10,002	2,785	45.7	45.2
大阪市中央市場本場	152,529	50,665	2,843	1,601	1.9	3.2
東京都中央市場	467,259	155,290	1,156	254	0.2	0.2
大阪府中央東部市場	60,111	14,901	533	247	0.9	1.7
大阪府中央市場	72,846	19,785	1,001	347	1.4	1.8
神戸市中央市場本場	34,568	9,920	945	177	2.7	1.8
神戸市中央東部市場	12,004	3,853	117	34	1.0	0.9

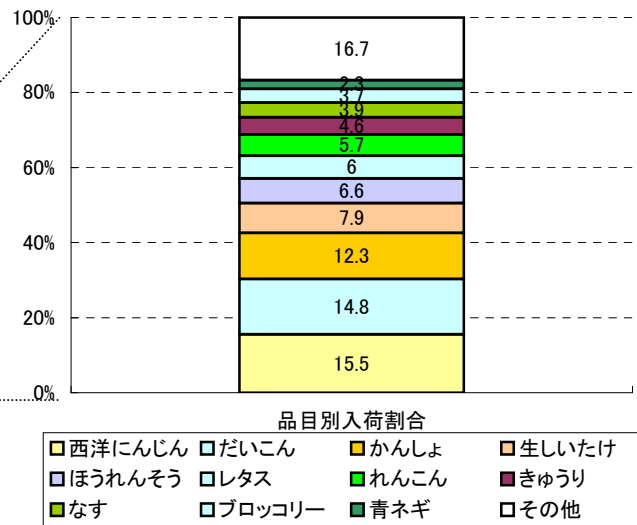
資料:各卸売市場年報(いちご、すいか、メロン類を含む)

5 大阪中央卸売市場での県産青果物(野菜)の位置(平成23年1月～12月)

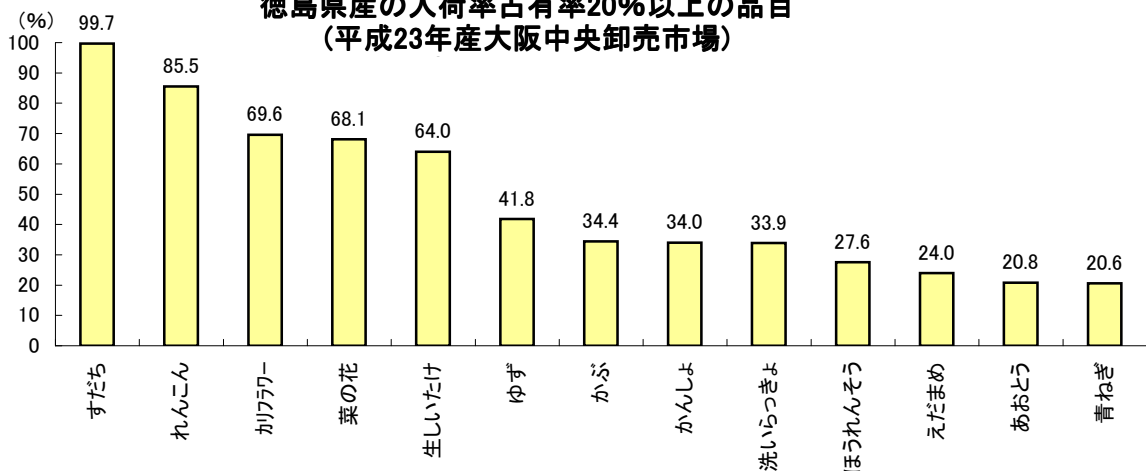
大阪中央卸売市場における
産地別入荷状況



徳島県産野菜の
品目別入荷割合



徳島県産の入荷率占有率20%以上の品目
(平成23年産大阪中央卸売市場)



	すだち	れんこん	カリフラワー	菜の花	生しいたけ	ゆず	かぶ	かんしょ	洗いらっきょ	ほうれんそう	えだまめ	あおとう	青ねぎ
入荷量占有率	99.7%	85.5%	69.6%	68.1%	64.0%	41.8%	34.4%	34.0%	33.9%	27.6%	24.0%	20.8%	20.6%
第1位 都道府県・国	徳島	徳島	徳島	徳島	徳島	徳島	徳島	茨城	鳥取	岐阜	岐阜	徳島	香川
第1位 入荷量	360	1,987	483	282	2,749	189	760	4,597	167	2,897	337	65	1,041
第2位 都道府県・国	高知	茨城	長野	香川	秋田	高知	福岡	徳島	徳島	徳島	徳島	宮崎	徳島
第2位 入荷量	1	170	124	47	352	102	323	4,291	101	2,318	293	62	799
第3位 都道府県・国	—	佐賀	大阪	兵庫	中国	愛媛	石川	宮崎	高知	福岡	台湾	岐阜	大阪
第3位 入荷量	—	99	26	30	249	69	298	1,805	17	1,015	176	44	608

資料: 大阪中央卸売市場「青果物流通年報」

——大阪中央卸売市場で上位を占める県産野菜——

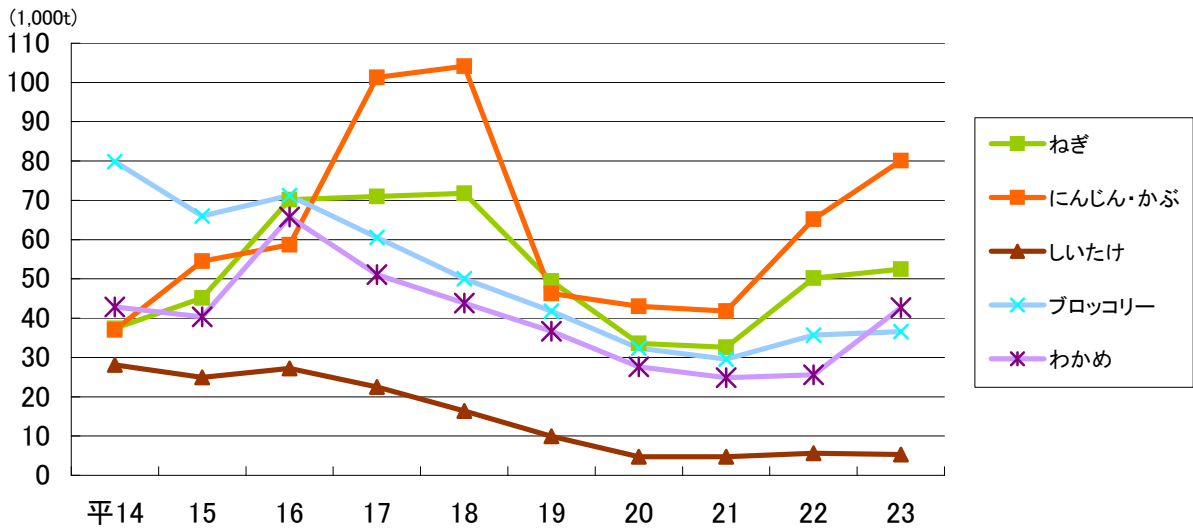
平成23年の大阪中央卸売市場における徳島県産の野菜入荷量は3万4,953t(前年比2.7%減)であり、これは市場全入荷量の5.7%を占めており、北海道、長野県、兵庫県、長崎に次いで第5位となっている。

県出荷量総量に占める割合を品目別にみると、西洋にんじん(15.5%)だいこん(14.8%)かんしょ(12.3%)生しいたけ(7.9%)ほうれんそう(6.6%)レタス(6.0%)れんこん(5.7%)きゅうり(4.6%)なす(3.9%)と本県の特産品が上位に並んでいる。

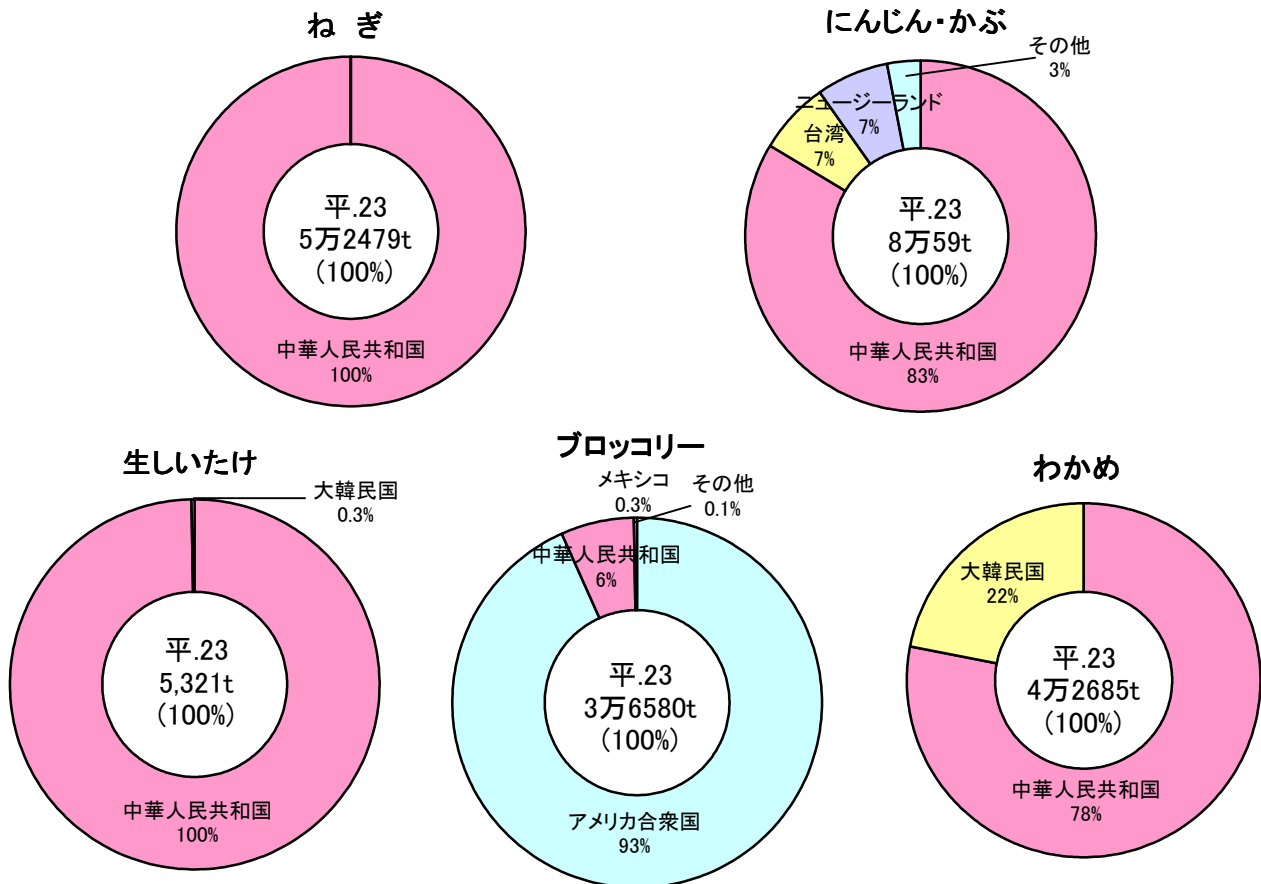
また、市場占有率20%以上の品目を産地別にみると、すだち、れんこん、カリフラワー、菜の花、生しいたけ、ゆず、かぶなど8品目で第1位であり、大阪中央卸売市場では徳島県が野菜の大きな供給地となっている。

6 主な農林水産物の輸入動向(平.23)

主な品目の輸入量



主な品目の輸入国割合(平.23)



資料:財務省「貿易統計」

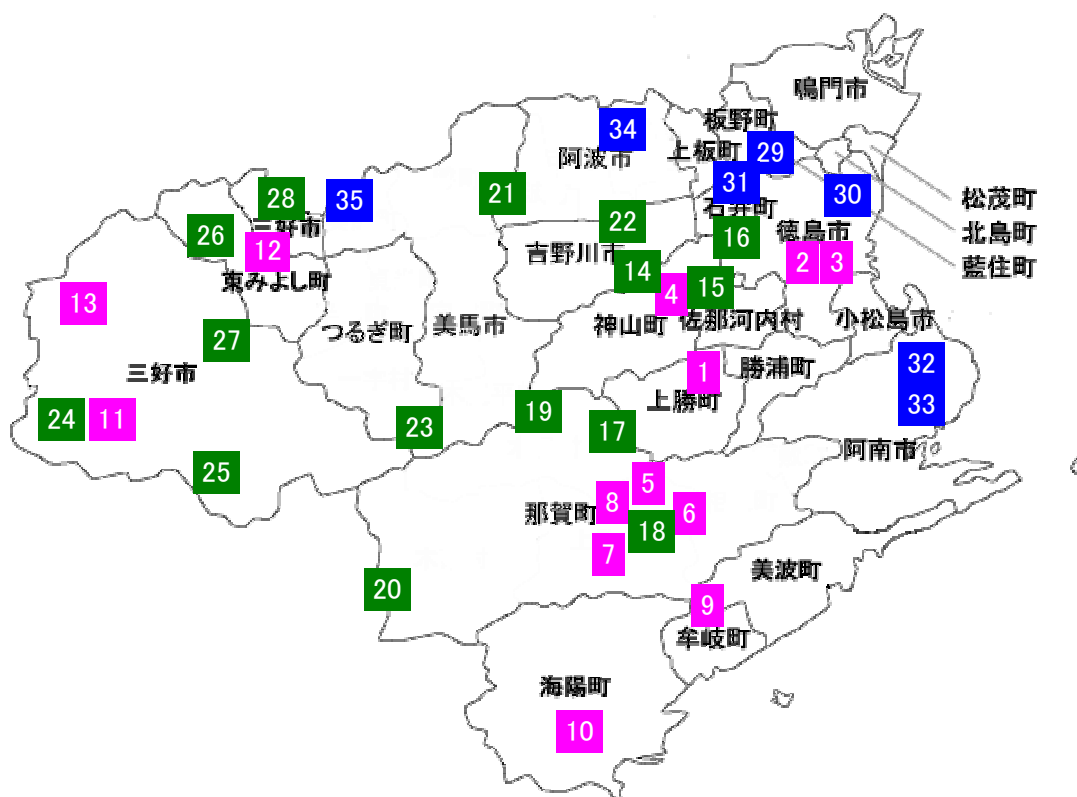
——平成23年の輸入生鮮野菜は増加——

平成23年に輸入された野菜(生鮮・冷蔵)は83万2,716tで、前年に比べ7万6,017t(前年比10.0%)増となった。また、主な輸入先は中国(58.2%)、アメリカ合衆国(15.6%)、ニュージーランド(10.6%)であり、この上位3か国で84%を占めている。

一方、冷凍野菜の輸入量は90万4,412tで、前年に比べ7万3,201t(前年比8.8%)増加している。

Ⅲ 林 業

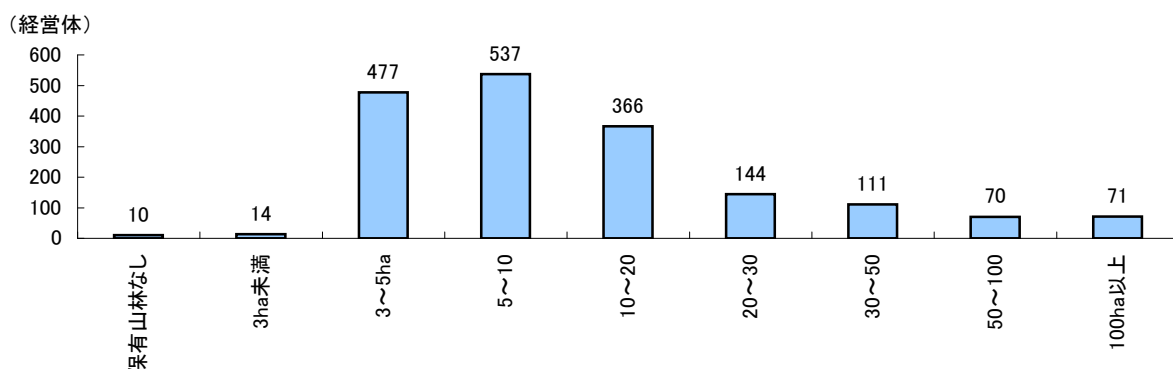
1 徳島県の主な林業施設等の設置状況 (平成24年3月現在)



木材流通加工施設		木材流通加工施設	
1	徳島 東部 木材加工施設 もくさん	19	阿南・那賀 ファガスの森キャンプ場
2	徳島 東部 津田木材団地	20	阿南・那賀 美那川キャンプ村
3	徳島 東部 原木市場	21	徳島 中央 土柱山村広場
4	徳島 東部 徳島中央森林組合	22	徳島 中央 上桜山村広場
5	阿南・那賀 木頭森林組合木材共販所	23	美 馬 中尾山高原森林総合利用施設
6	阿南・那賀 相生町国産材加工生産協同組合	24	三 好 塩塚高原休養休憩施設
7	阿南・那賀 若杉林材加工組合	25	三 好 竜宮崖公園
8	阿南・那賀 あじさい木工株式会社	26	三 好 美濃田の淵自然公園
9	海 部 海部林材協同組合	27	三 好 森林体験交流施設
10	海 部 TSウッドハウス加工場	28	三 好 健康とふれあいの森
11	三 好 三好林業総合センター	その他の施設等	
12	三 好 三好木材流通加工団地	29	徳島 東部 スーパーウッドシステムモデルハウス
13	三 好 集成材加工施設	30	徳島 東部 ハウスジ-住宅センターウッドプラザ
森林総合利用施設		31	徳島 東部 もくさん モデルハウス
14	徳島 東部 神山森林公園	32	阿南・那賀 那賀川すぎ共販 モデルハウス
15	徳島 東部 大川原高原	33	阿南・那賀 TSウッドハウス モデルハウス
16	徳島 東部 野鳥の森	34	徳島 中央 金清生活環境保全林
17	徳島 東部 高丸山千年の森	35	美 馬 竜王山生活環境保安林
18	阿南・那賀 あいあいらんど		

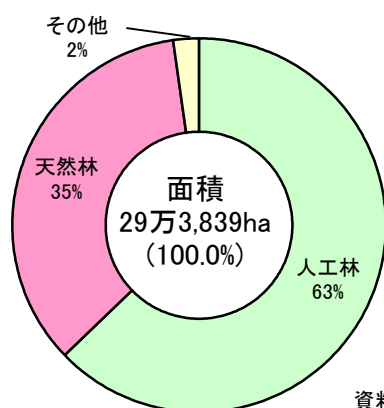
2 林業経営体数及び森林面積

(1) 保有山林面積規模別林業経営体数 (H.22)



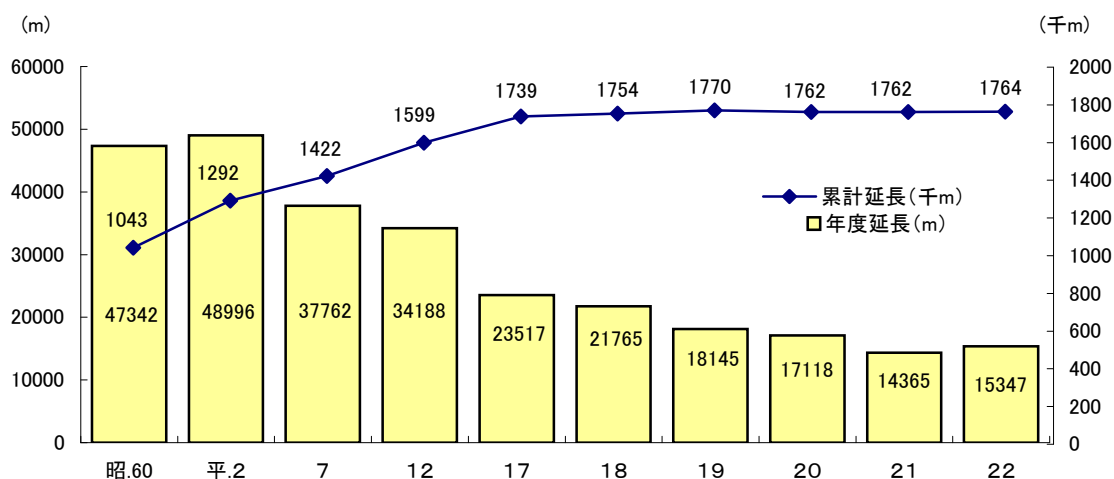
資料: 農林水産省「2010農林業センサス」

(2) 森林面積の構成比 (計画対象民有林) (H.22)



資料: 徳島県「平成23年度みどりの要覧」

(3) 林道開設延長の推移



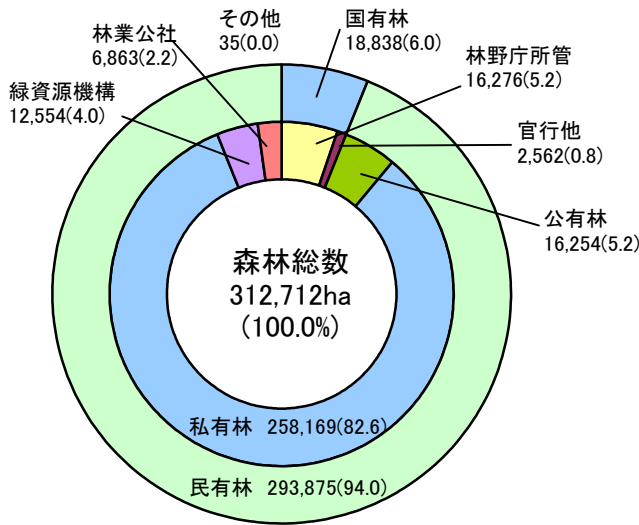
資料: 徳島県「平成23年度みどりの要覧」

——民有林が中心の森林資源——

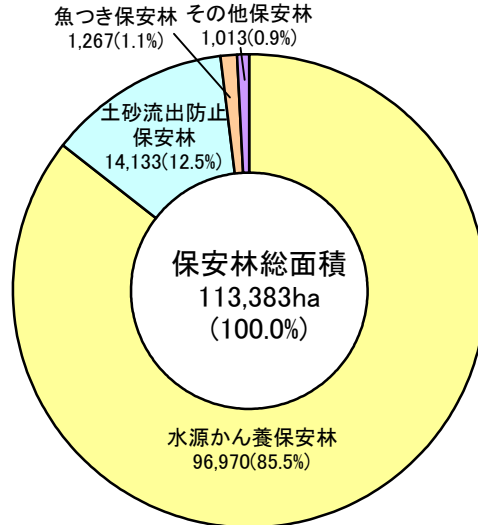
2010年農林業センサスにおける本県の林業経営体数は1,800経営体である。保有林山林規模別にみると、林業経営体数の72.2%を5ha以上が占めている。平成22年の森林面積(民有林)は29万3,839haで、うち人工林が18万4,628ha、天然林が10万3,287haで、人工林率は63%となっている。

3 森林資源(H.22)

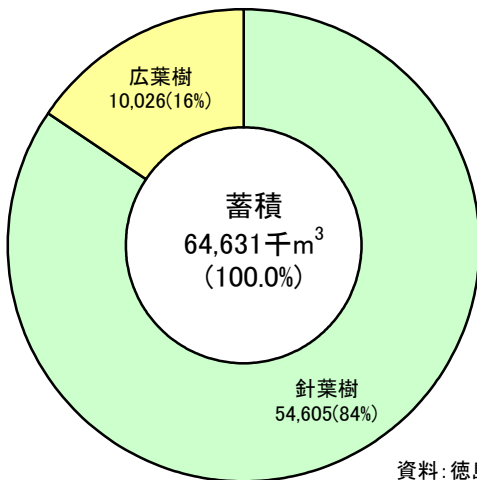
(1) 森林管理形態別面積



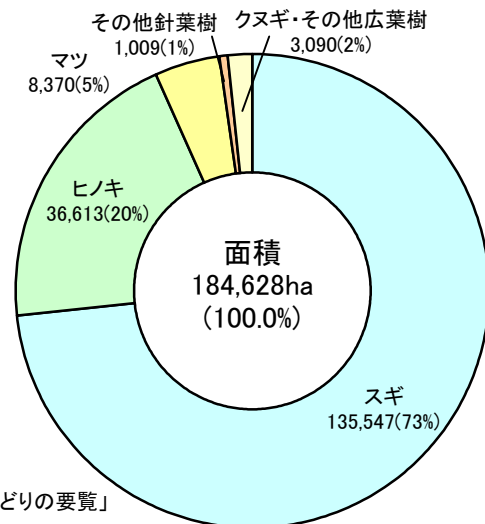
(2) 保安林面積の現況(民有林)



(3) 森林蓄積の構成比(計画対象民有林)

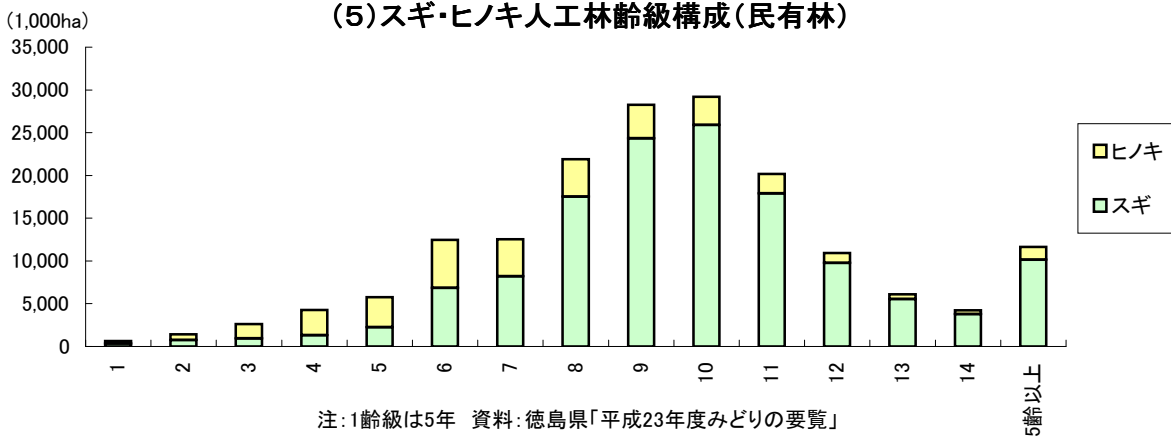


(4) 人工林樹種別面積(計画対象民有林)



資料：徳島県「平成23年度みどりの要覧」

(5) スギ・ヒノキ人工林年齢構成(民有林)



注：1年齢級は5年 資料：徳島県「平成23年度みどりの要覧」

———公益的機能の発揮と地球温暖化防止森林吸収源対策に向けて———

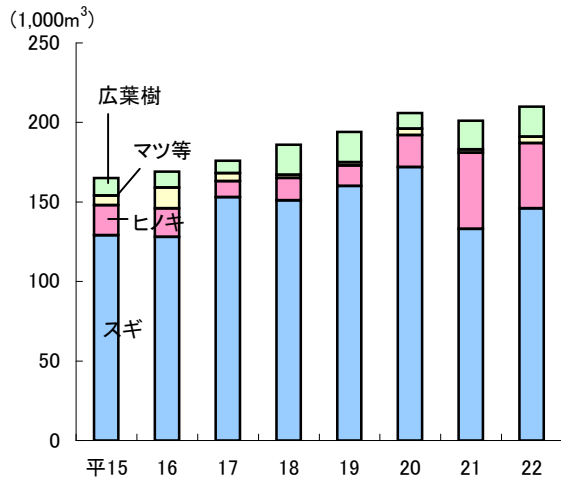
平成22年の森林面積は31万2,712haで県土の75%を森林が占めており、そのうち民有林面積は29万3,875haである。

本県の森林の75%占める民有林は、スギ・ヒノキなどの人工林が63%を占めており、そのうち8-10年齢級(36~50年生)の緊急に間伐が必要な森林が約5割を占めている。

この森林を「水土保全林」、「森林と人との共生林」、「資源の循環利用林」の3つの機能に区分し、間伐対策の推進や複層林の導入、林道等路網の整備、治山施設の効率的設置等により各種機能が発揮される健全な森林づくりを進めている。

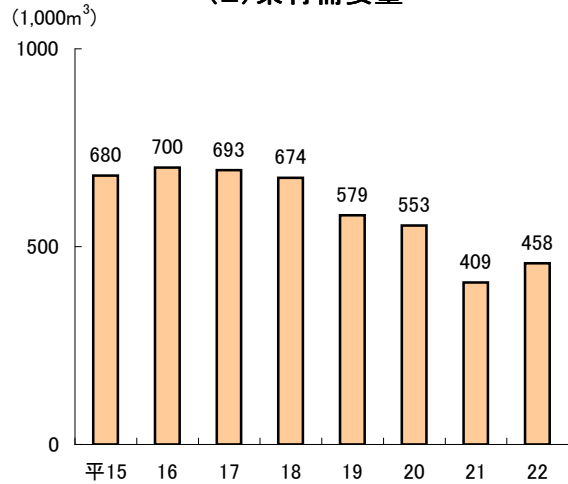
4 林業生産

(1) 素材生産量



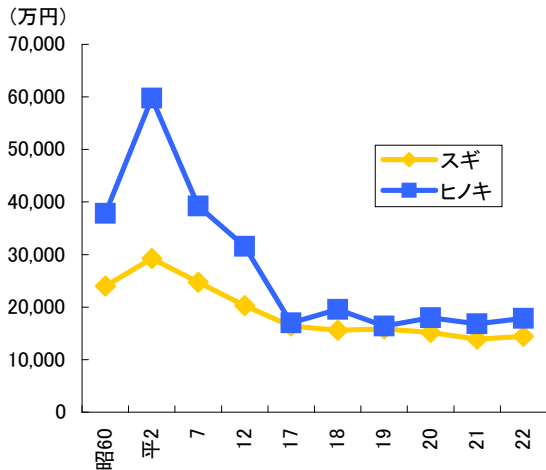
資料: 農林水産省「木材需給報告書」

(2) 素材需要量



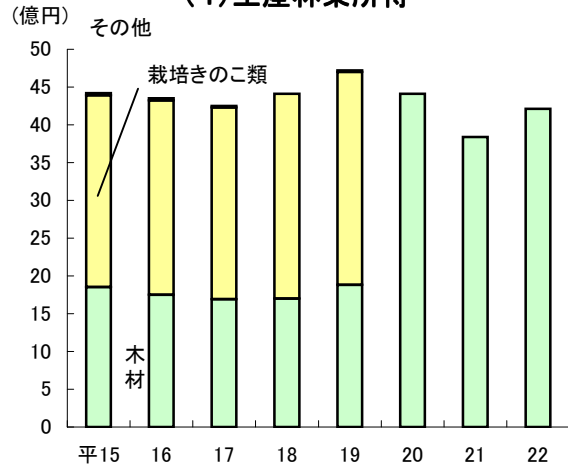
資料: 農林水産省「木材需給報告書」

(3) 県内木材価格の推移



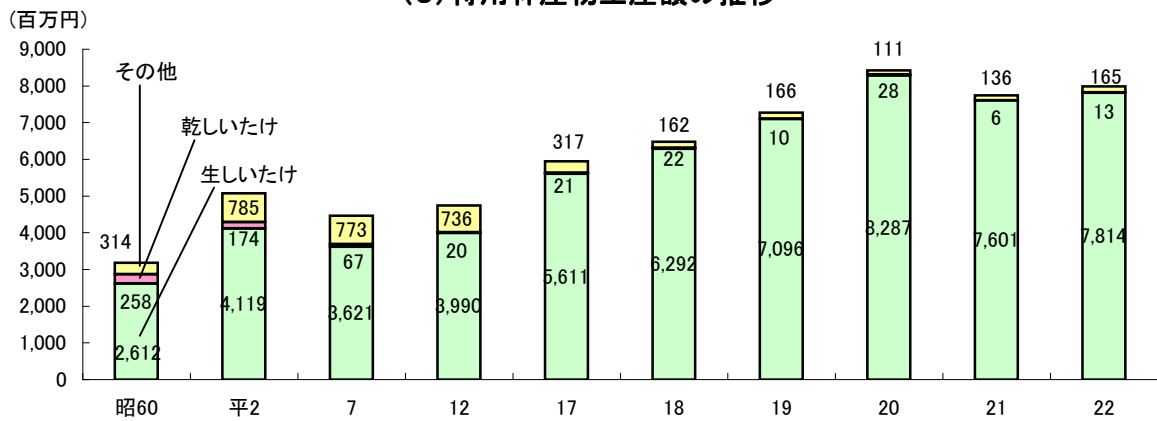
資料: 徳島県「平成23年度みどりの要覧」

(4) 生産林業所得



資料: 農林水産省「生産林業所得統計」
注: 平成20年以降は区別はなし

(5) 特用林産物生産額の推移



資料: 徳島県「平成23年度みどりの要覧」

—— 県産材の生産拡大と木材産業の体質強化を目指す ——

林業や木材産業の振興はもとより、山村の活性化や森林の適正な整備につながる県産木材の需要拡大を図るため、県産木材の良さと利用を普及啓発するとともに、県産木造住宅の普及、公共施設や土木工事での使用を積極的に進めている。

平成22年の素材生産量は21万m³で、前年に比べ9,000m³(4.5%)増加した。また、素材需要量は45万8千m³で、前年に比べ4万9千m³(12.0%)増加した。

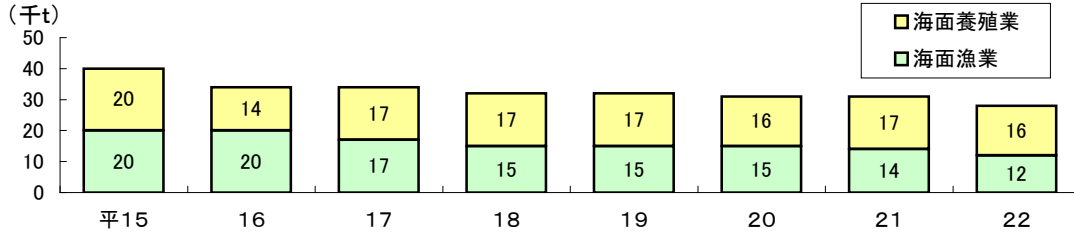
生産林業所得は42億1千万円で、前年に比べ3億7千万円(9.6%)増加した。また、特用林産物の生産額は79億9,180万円で、前年に比べ2億4,940万円(3.2%)増加した。

IV 水産業

漁場環境・資源状況の悪化など水産業を取り巻く状況が変化中、本県の豊かな自然環境を活かした強い水産業を育成するため、①漁家経営の安定と担い手の育成、②漁業団体の育成・強化、③漁港・海岸と漁場の整備④適切な資源の管理と利用、⑤海面養殖業の振興、⑥内水面漁業・養殖業の振興、⑦水産物流通・加工体制の充実、⑧漁場環境の監視と保全、⑨効率的な漁場利用の推進を主要施策として各種事業に取り組んでいる。

1 海面漁業

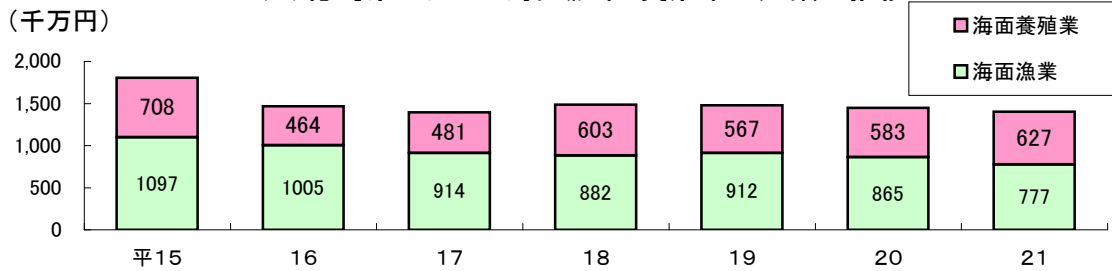
(1) 徳島県における海面漁業・養殖業生産量の推移



資料：農林水産省「海面漁業生産統計調査」平成15年から、すじ青のりを含まない。

海面漁業・養殖業生産量は、2万8,596tで、2,062t(6.7%)の減少となった。
内訳をみると、海面漁業の漁獲量が1,633t(11.6%)、海面養殖業の収穫量が430t(2.6%)それぞれ減少となった。

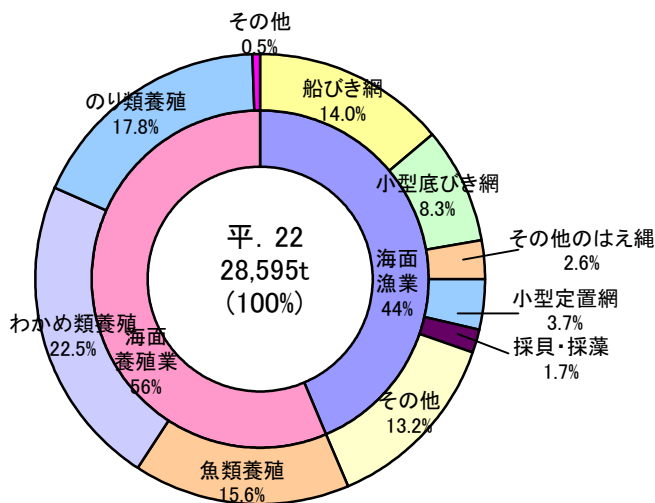
(2) 徳島県における海面漁業・養殖業生産額の推移



資料：農林水産省「漁業生産額取りまとめ」平成15年から、すじ青のりを含まない。

平成21年の海面漁業・養殖業生産額は140.4億円で、前年に比べ減少。
内訳をみると、海面漁業が78億円、海面養殖業は63億円となる。

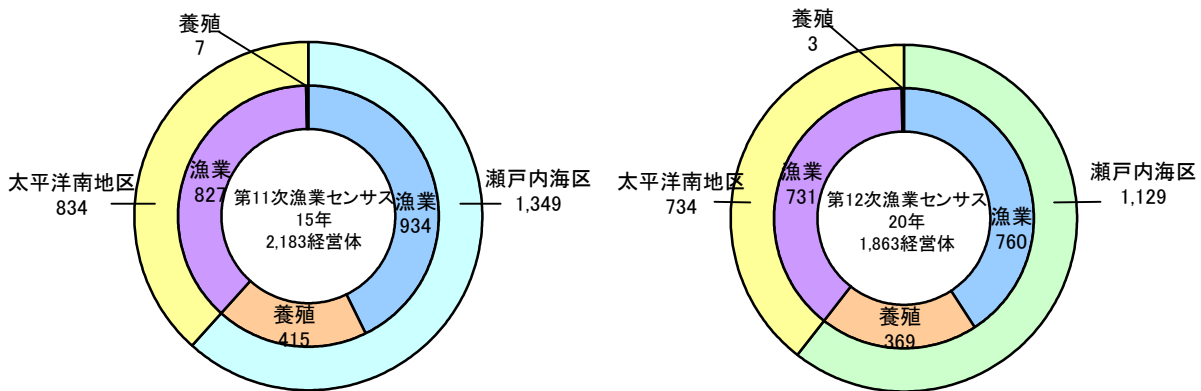
(3) 海面漁業・養殖業の漁業種類別漁獲量及び収穫量割合(H22)



資料：農林水産省「海面漁業生産統計調査」

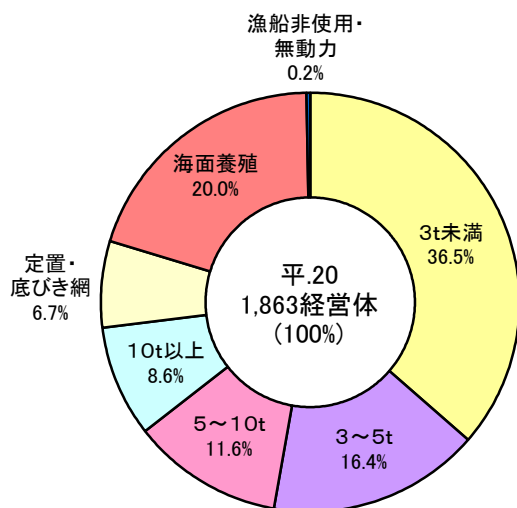
2 海面漁業の生産構造

(1) 海区別経営体数



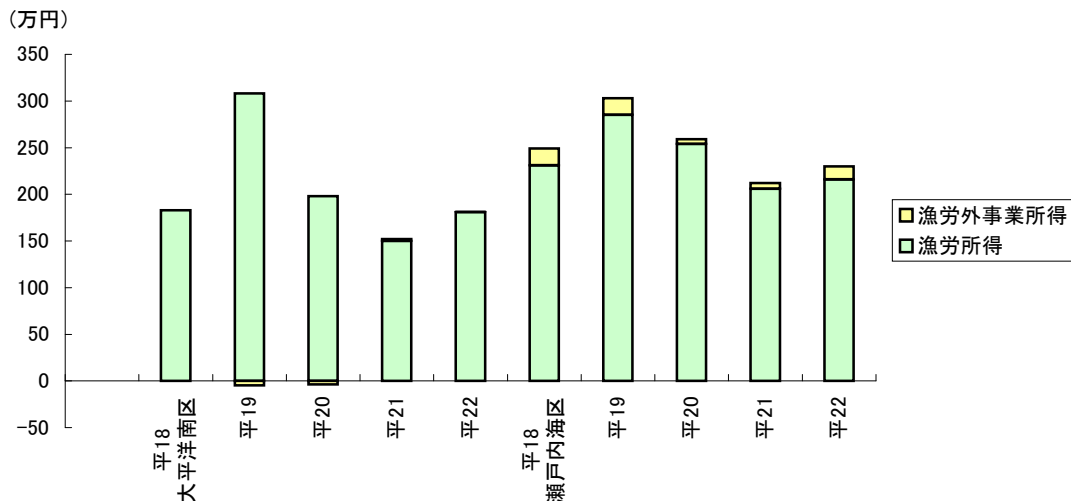
資料: 農林水産省「漁業センサス」

(2) 経営体別階層別経営体数の構成割合



資料: 農林水産省「漁業センサス」

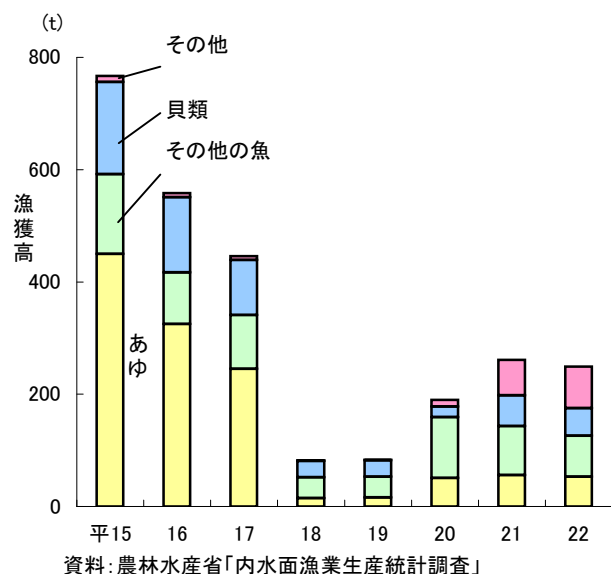
(3) 経営体総所得



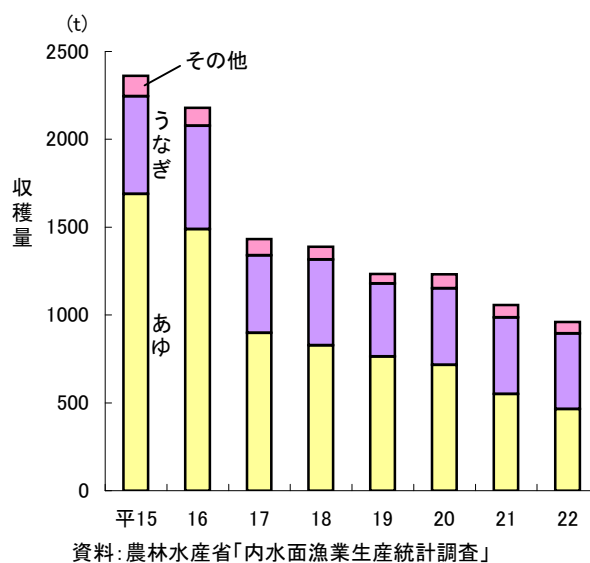
資料: 農林水産省「漁業経営調査(家族型経営調査)」

3 内水面漁業の生産量

(1)内水面漁業魚種別漁獲量



(2)内水面養殖業魚種別収穫量



———あゆ養殖は全国第4位———

平成22年の販売を目的とした内水面漁業の漁獲量は249tとなった。魚種別にみると、あゆの漁獲量が53t、その他の魚の漁獲量が73tとなっている。また、平成22年の内水面養殖業の収穫量は961tで、前年に比べ95t(9%)減少した。これを養殖種類別にみると、あゆ養殖の収穫量が464t(15.8%)減少、うなぎ養殖の収穫量は4t(1%)減少となっている。全国順位については、あゆが生産量全国第4位、うなぎが同第6位と上位にある。

4 全国から見た徳島の漁業

平成22年における主要魚種別漁獲量・収穫量と全国順位

順位	第3位	第4位	第6位	第6位	第8位
種 類	わかめ類(養殖)	あゆ(養殖)	たちうお	うなぎ(養殖)	あわび類
徳島県(t)	6,442	464	650	431	74
全 国 (t)	52,393	5,676	10,081	20,543	1,461

統計表

1 産業別概要

(1) 産業別就業者数

単位:人

年次	総数	第1次産業				第2次産業	第3次産業	分類不能の産
		計	農業	林業	水産業			
平 2	400,046	56,989	50,326	1,675	4,988	125,531	215,707	1,819
7	406,031	49,349	43,357	1,255	4,737	124,049	230,443	2,190
12	390,509	40,352	35,487	846	4,019	112,939	232,078	5,140
17	373,825	36,475	32,600	604	3,271	95,211	235,209	6,930
22	347,093	29,377	25,876	837	2,664	81,147	223,375	13,194

(2) 経済活動別県内総生産

単位:億円

年次	県内総生産	第1次産業				第2次産業	第3次産業	輸入税	帰属利子等(控除)
		計	農業	林業	水産業				
平 14	27,522	811	629	65	118	8,632	19,564	37	1,523
15	28,259	842	679	55	108	9,586	19,276	38	1,482
16	27,992	730	592	55	83	9,298	19,304	42	1,381
17	27,241	730	594	50	86	8,651	19,199	51	1,381
18	26,729	681	552	53	76	8,396	18,999	51	1,390
19	26,437	620	495	54	72	8,207	18,975	65	1,399
20	26,540	615	495	54	65	7,595	19,598	81	1,430
21	26,434	582	458	53	70	7,539	19,494	36	1,101

資料:徳島県「県民経済計算」

県民活動別総生産については、四捨五入していることから合計と内訳が一致しない場合がある。

2 農 業

(1) 農業経営体数

単位:経営体

(2) 経営耕地面積規模別経営体数(農業経営体のうち家族経営)

年次	農業経営体		区分	計	0.5ha未満	0.5~1.0	1.0~1.5	1.5~2.0	2.0~3.0	3.0ha以上
	家族経営									
平 17	24,970	24,756	平 17	24,756	7,759	10,226	3,921	1,486	978	386
22	22,046	21,839	22	21,839	6,173	9,049	3,606	1,503	1,016	492

資料:農林水産省「2005年農林業センサス」「2010年農林業センサス」

(3) 農業従事者数(農業経営体のうち家族経営)

単位:人

年次	男女計	男							女						
		小計	15~29歳	30~39	40~49	50~59	60~64	65歳以上	小計	15~29歳	30~39	40~49	50~59	60~64	65歳以上
平 22	59,029	31,015	2,489	2,643	3,164	6,449	4,070	12,200	28,014	1,342	1,664	2,843	6,042	3,421	12,702

資料:農林水産省「2010年農林業センサス」

(4) 農業就業人口(農業経営体のうち家族経営)

単位:人

年次	男女計	男							女						
		小計	15~29歳	30~39	40~49	50~59	60~64	65歳以上	小計	15~29歳	30~39	40~49	50~59	60~64	65歳以上
平 22	38,311	18,376	895	654	810	2,128	2,556	11,333	19,935	506	637	1,069	3,108	2,627	11,988

資料:農林水産省「2010年農林業センサス」

(5) 基幹的農業従事者数(農業経営体のうち家族経営)

単位:人

年次	男女計	男							女						
		小計	15~ 29歳	30~ 39	40~ 49	50~ 59	60~ 64	65歳 以上	小計	15~ 29歳	30~ 39	40~ 49	50~ 59	60~ 64	65歳 以上
平 22	28,030	14,967	307	591	765	2,025	2,344	8,935	13,065	78	281	684	2,285	1,905	7,832

資料:農林水産省「2010年農林業センサス」

(6) 耕地種類別面積及び耕地利用率

単位:ha, %

年次	合計	田			畑				耕地利用率
		小計	普通田	特殊田	小計	普通畑	樹園地	牧草地	
平 14	33,700	21,700	21,100	586	11,900	6,120	5,620	196	99.4
15	33,100	21,600	21,000	577	11,500	6,000	5,350	187	99.1
16	32,700	21,400	20,800	580	11,300	5,920	5,200	181	98.2
17	32,400	21,200	20,600	580	11,200	5,940	5,080	181	96.6
18	32,100	21,100	20,600	560	11,000	5,920	4,870	181	96.3
19	31,700	21,000	20,500	556	10,700	5,840	4,670	181	95.3
20	31,400	20,900	20,300	543	10,600	5,800	4,580	177	94.3
21	31,300	20,800	20,300	543	10,500	5,780	4,530	177	93.6
22	31,100	20,700	10,400	5,780	4,450	153	92.3

資料:農林水産省「作物統計調査」

(7) 農業産出額及び生産農業所得

単位:億円

年次	農業 産出額	耕 種						畜産	加工 農産物	生産農 業所得	農家1戸 当たり 生産農業 所得	耕地10a 当たり 生産農業 所得	農家1戸 1戸当たり 生産農業 所得	全国耕地 10a当たり 生産農業 所得
		計	米	いも類	野菜	果実	花き							
平 18	1,052	759	138	79	376	100	41	292	2	366	942	114	1,102	67
19	1,025	747	135	87	367	96	40	277	2	336	866	106	1,077	66
20	1,052	771	144	86	377	101	39	279	1	296	763	94	1,167	96
21	1,001	729	134	78	361	94	38	271	1
22	1,002	729	121	72	366	111	38	272	1

資料:農林水産省「生産農業所得統計」

注:農業産出額で計と内訳が一致しないのは、主要品目のみ掲載したためと、単位未滿を四捨五入しているため。

単位 { 作付面積:ha
10a当たり収量:kg
収穫量:t

(8) 水稻・麦類

年産	水 稻			小 麦			二条大麦			裸 麦		
	作付面積	10a 当たり 収量	収穫量	作付面積	10a 当たり 収量	収穫量	作付面積	10a 当たり 収量	収穫量	作付面積	10a 当たり 収量	収穫量
平 14	14,300	476	68,100	110	381	419	32	456	146	77	312	240
15	14,100	453	63,900	116	420	487	40	348	139	44	282	124
16	14,100	463	65,300	134	325	436	34	276	94	0	258	3
17	14,100	487	68,700	110	270	297	18	261	47	1	245	2
18	14,100	457	64,400	101	333	336	17	365	62	1	252	3
19	14,000	475	66,500	81	358	290	16	438	70	7	286	20
20	13,900	504	70,100	86	347	298	14	442	62	13	231	30
21	13,700	471	64,500	73	205	150	13	280	36	13	158	21
22	13,500	471	63,600	×	215	×	×	294	×	27	82	22

資料:農林水産省「作物統計調査」

×:非公表

(9) 野菜作付面積

単位:ha

年産	野菜計	だいこん	にんじん	れんこん	かんしょ	たけのこ	きゅうり	トマト	なす	
									うちミニトマト	
平 14	10,601	668	1,060	583	1,260	1,060	107	111	28	176
15	10,300	665	1,030	577	1,250	903	107	111	28	171
16	9,970	592	1,020	579	1,250	851	103	98	27	171
17	9,640	596	983	576	1,240	815	96	90	25	152
18	9,370	602	975	559	1,230	689	85	84	24	145
19	9,060	568	975	554	1,220	...	80	83	24	133
20	8,730	533	1,010	542	1,220	111	78	88	25	127
21	8,610	485	990	538	1,210	...	78	87	25	126
22	8,500	475	984	543	1,160	...	77	86	25	121

年産	しろり	いちご	キャベツ	ほうれん そ	レタス	カリフラワー ・ブロッコリー	ねぎ	さ や いんげん	さ や えんどう	えだまめ	スイート コーン
15	35	107	201	863	504	487	216	106	139	271	265
16	34	107	180	843	477	461	210	107	138	270	268
17	34	101	173	845	468	470	199	100	129	269	256
18	35	100	163	791	464	491	199	97	129	263	249
19	...	97	156	769	457	530	202	92	133	233	231
20	30	...	151	695	429	548	205	...	118	208	228
21	157	678	432	558	204	...	116	208	230
22	...	94	156	685	400	567	197	62	112	210	228

注:野菜計は作付延べ面積に、いも類のかんしょを含む。

資料:農林水産省「作物統計調査」

(10) 果樹栽培面積・収穫量

単位 { 栽培面積:ha
収穫量:t

年産	果樹 栽培 面積	みかん		はっさく		ゆず		すだち		ぶどう		日本なし	
		栽培 面積	収穫量	栽培 面積	収穫量	栽培 面積	収穫量	栽培 面積	収穫量	栽培 面積	収穫量	栽培 面積	収穫量
平 14	3,880	1,150	19,300	159	2,240	354	3,580	583	7,050	114	1,160	275	7,940
15	3,760	1,090	20,300	155	2,120	357	3,220	565	7,120	109	1,060	273	6,510
16	3,670	1,030	15,100	150	2,120	361	3,990	556	8,190	108	1,040	274	6,050
17	3,560	1,010	18,100	144	2,050	360	3,020	541	6,480	107	1,030	270	6,000
18	3,470	990	13,200	144	1,740	358	3,220	527	6,170	107	901	254	4,990
19	3,350	965	16,300	102	...	254	5,230
20	3,260	944	13,100	99	...	251	6,670
21	3,240	942	14,200	96	868	251	6,480
22	...	935	10,300	95	...	248	5,470

年産	うめ		かき		くり	
	栽培 面積	収穫量	栽培 面積	収穫量	栽培 面積	収穫量
平 14	332	1,880	347	5,140	242	190
15	327	1,560	332	4,820	228	139
16	319	1,530	330	4,060	219	111
17	299	1,350	319	4,580	198	121
18	280	1,160	313	3,910	191	134
19	267	1,160	288	...	172	134
20	258	1,040	275	...	166	143
21	253	983	271	3620	164	126
22	244	809	263	...	153	116

資料:農林水産省「作物統計調査」

(8) 花き

単位: ha

単位: 百万円

年産	栽培面積					販売額				
	計	切花	枝物	鉢物	花壇用苗	計	切花	枝物	鉢物	花壇用苗
平 14	390	193	156	32	9	7,794	4,084	316	2,959	435
15	371	189	144	29	9	7,321	3,891	309	2,777	344
16	343	176	128	30	8	6,938	3,694	315	2,650	278
17	332	165	131	29	7	6,658	3,592	328	2,503	236
18	318	160	125	28	5	6,283	3,460	321	2,327	175
19	305	152	121	28	5	6,032	3,330	326	2,205	170
20	299	146	121	27	5	5,703	3,144	313	2,081	165
21	292	143	120	25	4	5,332	2,937	304	1,939	153
22	265	122	121	22	0	4,561	2,538	189	1,826	8

注: ラウンドのため計と内訳が一致しない場合がある。

資料: 徳島県「徳島の花」

(9) 茶単位 { 面積: ha
収穫量: t

年産	茶	
	栽培面積	生葉収穫量
平 14	359	1,140
15	357	1,130
16	357	1,040
17	348	1,010
18	337	...
19	335	...
20	330	...
21	324	...
22	308	900

資料: 農林水産省「作物統計調査」

(10) 畜産単位 { 戸数: 戸
頭数: 頭
羽数: 1,000羽

年次	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー	
	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養羽数	飼養戸数	飼養羽数
平 14	300	10,300	440	35,400	80	48,800	50	926	293	4,810
15	290	9,820	390	32,000	80	42,400	40	815	276	4,739
16	275	9,610	370	31,400	76	42,000	42	1,032	270	4,436
17	252	9,120	362	29,500	69	40,400	37	1,009	259	4,397
18	240	8,740	334	29,100	57	42,000	29	964	264	5,088
19	226	8,210	316	28,700	48	38,800	25	907	264	4,869
20	221	7,760	313	29,400	47	40,600	25	932	255	4,344
21	202	7,310	307	27,700	44	38,300	22	1,024	247	4,466
22	171	6,730	284	27,800
23	151	6,340	248	27,600	43	40,100	22	731

注: 平成22年の豚・採卵鶏・ブロイラーは調査休止。

(11) 農畜産物の出荷量

品目	平.14	15	16	17	18	19	20	21			
	出荷量	出荷量	出荷量	出荷量	出荷量	出荷量	出荷量	出荷量	仕向先別		
									京阪神	その他 県外	県内
野菜 (t)	230,688	217,630	194,151	191,710	201,789	201,865	199,499	198,362	116,628	49,628	32,106
果樹 (t)	34,913	35,669	32,061	32,797	27,522	27,189	23,627	22,966	7,409	7,341	8,216
肉牛 (頭)	19,435	17,806	17,927	16,019	15,588	15,914	15,527	15,167	4,200	4,906	6,061
肉豚 (頭)	91,997	80,335	82,157	76,000	77,525	72,000	77,000	75,300	2,509	8,239	64,552
卵鶏 (t)	12,487	12,413	11,629	11,469	11,665	9,572	9,296	10,287	3,522	622	6,143
ブロイラー(1,000羽)	19,773	19,483	18,990	19,324	19,105	18,394	18,541	17,559	-	618	16,941

注: 果実(みかん)の輸向向けは含めない。

注: 肉牛、肉豚、ブロイラーはと場・処理場向け出荷量。

資料: 農林水産省「畜産物流通統計」、徳島県「徳島の野菜」「徳島の果樹」

3 林 業

(1) 徳島県の森林・林業主要指標

項 目	単 位	全 国	徳 島 県	占有率(%)	順位	資 料 出 所
総 土 地 面 積	千ha	37,795	415	1.1	36	全国都道府県市区町村別面積調(H22)
総 人 口	人	128,056,026	785,873	0.6	44	国勢調査(H22)
総 世 帯 数	世帯	51,951,513	302,144	0.6	43	
林 野 率	%	67	75	-	10	2010年農林業センサス
森 林 面 積	千ha	25,097	312	1.2	30	林野庁計画課調べ(H19.3.31)
国 有 林	千ha	7,686	19	0.2	34	
民 有 林	千ha	17,411	294	1.7	25	
人 工 林 面 積	千ha	10,347	192	1.9	23	
人 工 林 率	%	41	62	-	6	
森 林 蓄 積	千m ³	4,431,737	66,241	1.5	29	
国 有 林	千m ³	1,078,272	2,944	0.3	34	
民 有 林	千m ³	3,353,465	63,297	1.9	24	
保 安 林 面 積	ha	11,962,640	113,014	0.9	30	林野庁治山課調べ(H23.3.31)
国 有 林	ha	6,874,971	18,355	0.3	32	
民 有 林	ha	5,087,669	94,659	1.9	23	
林 道 延 長	km	136,843	1,879	1.4	30	林野庁「国有林野事業統計書」(H22.3.31) ※幅員2.0m未満含む
国 有 林	km	44,146	52	0.1	40	
民 有 林	km	92,697	1,827	2.0	24	
農 林 業 経 営 体 数	経営体	1,726,751	22,579	1.3	37	2010年農林業センサス
林 業 経 営 体 数	経営体	140,186	1,800	1.3	34	
林 業 経 営 体 率	%	8	8	-	20	
生 産 林 業 所 得	千万円	21,930	384	1.8	18	生産林業所得統計報告書(H21) ※全国計には、パルプ用産出額、まき生産額、木ろう及び生うるし産出額を含む。
林 業 産 出 額	千万円	41,222	897	2.2	14	
素 材 生 産 量	千m ³	17,193	210	1.2	22	農林水産省「木材需給報告書」(H22)
製 材 品 出 荷 量	千m ³	9,415	187	2.0	19	
木 材・木 製 品 出 荷 額	百万円	2,098,250	31,133	1.5	29	全国工業統計(H21)※従業員4人以上の事業所
乾しいたけ生産量	トン	3,597	3	0.1	36	林野庁経営課調べ
生しいたけ生産量	トン	75,016	7,877	10.5	1	(H21)特用林産基礎資料
ひらたけ生産量	トン	116	6	5.2		(H23)森林・林業統計要覧
木 炭 生 産 量	トン	15,244	51	0.3	31	
竹 炭 生 産 量	トン	897	14	1.6	16	

(2) 林業経営体数

単位:経営体

年次	計	保有林 林なし	3ha 未満	3~5	5~10	10~20	20~30	30~50	50~ 100	100~ 500	500~ 1000	1000ha 以上
平 22	1,800	10	14	477	537	366	144	111	70	58	9	4

資料:農林水産省「2010年農林業センサス」

(3) スギ・ヒノキ人工林年齢構成(民有林)

単位:ha

区分	1 (1~5 年生)	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15 階級 以上	合 計
スギ	311	766	954	1,321	2,237	6,854	8,200	17,508	24,333	25,907	17,903	9,782	5,529	3,794	10,129	135,547
ヒノキ	300	648	1,653	2,932	3,544	5,619	4,348	4,383	3,931	3,287	2,291	1,141	573	444	1,519	36,613
計	632	1,413	2,606	4,253	5,780	12,474	12,547	21,891	28,263	29,194	20,193	10,923	6,102	4,238	11,648	172,161

注:1階級は5年

資料:徳島県「平成23年度みどりの要覧」

(4) 樹種別生産量及び木材需要量

単位:1,000m³

年次	種 類 別							木 材 需 要 量	
	計	針 葉 樹					広 葉 樹	計	う ち 製 材 用
		小 計	ス ギ	マ ツ	ヒ ノ キ	そ の 他			
平 14	164	153	133	3	16	1	11	691	514
15	167	156	129	6	19	2	11	688	481
16	170	160	128	13	18	1	10	704	489
17	176	168	153	5	10	0	8	699	459
18	186	167	151	2	14	0	19	648	438
19	195	176	160	2	13	1	19	588	356
20	207	197	172	4	20	1	10	527	316
21	201	183	133	2	48	0	18	409	282
22	210	191	146	4	41	0	19	458	282

資料:農林水産省「木材生産構造調査」「木材需給報告書」

(5) 生産林業所得

単位:1,000万円

年次	生 産 林 業 所 得	木 材 生 産	薪 炭 生 産	栽 培 き の こ 類 生 産	林 野 副 産 物 生 産
平 14	446	189	3	254	1
15	442	185	3	254	0
16	436	175	3	257	0
17	425	169	2	254	-
18	443	170	x	271	x
19	472	188	2	282	-
20	441
21	384
22	421

資料:農林水産省「生産林業所得統計」

(6) 林業産出額及び生産林業所得

単位:1,000万円

年次	林 業 産 出 額					生 産 林 業 所 得
	計	木 材 生 産	薪 炭 生 産	栽 培 き の こ 類 生 産	林 野 副 産 物 生 産	
17	716	234	3	480	-	425
18	779	236	x	542	x	443
19	861	242	2	617	-	472
20	935	235	2	698	0	441
21	897	202	2	693	-	384
22	981	225	2	754	-	421

4 水 産 業

(1)海面漁業漁業種類別漁獲量・養殖魚種類別収穫量及び生産額(平.21)

単位 { 漁獲量(収穫量):t
生産額:億円

区分	計	海 面 漁 業						海 面 養 殖 業			
		小計	船びき網	小 型 底びき網	近海まぐろ は え 縄	小 型 定置網	中・小型 まき縄	小計	魚類	わかめ類	のり類
漁 獲 量 (収 穫 量)	30,658	14,087	3,714	2,685	1,862	1,111	1,157	16,571	4,360	5,957	6,125
生 産 額	140	78	63	31	7	13

資料:農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」

(2) 海面漁業・養殖業生産額

単位:100万円

年次	計	海面漁業	海面養殖業
平 14	17,968	11,161	6,807
15	18,054	10,973	7,081
16	14,690	10,047	4,643
17	13,950	9,140	4,810
18	14,847	8,823	6,025
19	14,783	9,117	5,666
20	14,483	8,651	5,832
21	14,037	7,767	6,270

資料:農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」

(3) 内水面漁業魚種別漁獲量

単位:t

年次	計	あ ゆ	う な ぎ	あゆ・うなぎ 以外の魚類	貝 類	水産動物類	藻 類
平 14	1049	716	25	157	132	6	12
15	767	450	20	122	164	7	4
16	558	325	15	77	134	6	1
17	445	245	14	82	98	6	1
18	83	15	6	31	29	1	…
19	83	16	4	33	29	1	…
20	190	51	7	101	19	12	…
21	260	56	5	81	55	63	…

注:平成18年より、販売を目的とした漁獲量を計上した。

資料:農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」

(4) 内水面養殖業魚種別収穫量

単位:t

年次	計	ま す 類	あ ゆ	う な ぎ	そ の 他
17	1433	93	899	441	…
18	1387	73	827	488	…
19	1234	x	763	416	…
20	1232	x	717	435	…
21	1056	x	551	435	…

注:平成13年より(ます類・あゆ・うなぎ・こい)のみの調査

資料:農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」

2012グラフで見る徳島の農林水産業

平成24年6月

編集・発行

徳島県(農林水産政策課)

徳島市万代町1-1

088-621-2387

088-621-2854(FAX)